Shibaura Institute of Technology

校友会だより

2020 June Vol.25

創立100周年に向けて

芝浦工業大学校友会の概要と活動について

芝浦工業大学校友会は昭和３年に発足しました。本部を東京都港区に設置し、現在は海外５支部（台湾・シンガポール・上海・タイ王国・韓国）と北海道から沖縄までの地域にお住まいの卒業生で構成されている43地域の地域支部、各官公庁や各一般企業などに在職している校友会会員や退職されている校友会会員で構成している職域（企業）支部が25支部、最後に各学科卒業、研究グループ卒業、スポーツ等の共通するグループの卒業生で構成されている同好支部が19支部、2019年度にはサッカー部OB会と弓道部OB会が新たに参加して頂き、合わせて94支部が活動されています。

校友会の目的は、会員相互の交流と親睦を深め、会員の社会貢献に寄与する活動の支援を目的としています。また、母校在学生への支援、母校の教育事業に援助し、母校の発展に寄与する事を行なっています。
現状は支部と本部が連携して下記のような活動を行っています。

1．在校生の就職支援活動
2．在校生の研究・実習活動への協力、卒業生による「実学サロン」の開催
3．女子学生博士（後期）課程進学奨学支援
4．在校生主催「芝浦祭」・「大宮祭」への支援
5．新卒業生への記念品贈呈
6．母校開催父母懇談会への協力
7．母校開催の賀詞交歓会への協賛
8．母校記念事業への協力
9．箱根駅伝予選会出場への支援活動
10．校友会全国総会、賀詞交換会の開催
11．校友会支部への活動支援
12．全国卒業生名簿の追補版発行
13．資格習得講座の提供
14．校友倶楽部の活用

本年度も各事業活動での協賛・支援などを含め、様々な活動を行なってまいります。

芝浦工業大学校友会は、在校生、後援会ならびに教職員との連携を密にし、芝浦工業大学の社会的基盤を更に強固にするための活動をしてまいります。

最後に今年度の校友会活動にご支援ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

目　次

芝浦工業大学校友会の概要と活動について
役員挨拶 …… 1
会　長　代　行 …… 1
会長代行・特別委員 …… 2
総務広報委員会 …… 2
財　務　委　員　会 …… 3
事　業　委　員　会 …… 3
例　規　委　員　会 …… 4
特　別　委　員　会 …… 4
役員紹介 …… 4
常任幹事会議長紹介 …… 6
理事長挨拶 …… 7
学長挨拶 …… 8
shiba-jo プラチナネットワークご紹介 …… 9
校友会活動 …… 11
各界で活躍する校友の皆様 …… 17
支部活動報告 …… 21
“支部旗”全国にひるがえる …… 46
校友会「会員名簿」について …… 46
芝浦工業大学校歌CDの販売 …… 46
常任幹事会、相談役・顧問名簿 …… 47
支部及び支部長紹介 …… 50
校友倶楽部利用のお願い …… 51
資格取得講座のご案内 …… 52
公開講座のお知らせ …… 52
校友会本部事務局紹介 …… 53
大学オリジナルグッズのご紹介 …… 53
在校生就職支援ご協力のお願い …… 54
編集者・協力者紹介 …… 54
広　告 …… 55

会長代行挨拶

芝浦工業大学 校友会
会長代行
（特別委員長兼任）
加 藤　善次郎

機械工学科　昭和 55 年卒

校友会歴
平成12年　常任幹事就任
以後常任幹事会議長、選挙管理委員会委員長、副会長就任
令和2年4月より校友会会長代行に就任

経　　歴
昭和60年　㈱日本環境設計　設立と同時に取締役就任
平成24年　㈱日本環境設計　代表取締役社長就任　現在に至る

はじめに、五十嵐前理事長が昨年 12 月 10 日に急逝されたことに、心よりお悔やみ申し上げます。

12 月 10 日の午前、大学より理事長が危篤状態であると連絡を受け、有明のがんセンターに向かいました。理事長は、集中治療室で人口呼吸器を装着していましたが、苦しむ様子もなく眠っておられました。長男の哲也さんに病状を伺い、「元気になって退院して下さい」と声掛けをし、炎症のあった左足を擦って帰路についたその日の夜に亡くなられました。急な逝去の知らせに声も出ないほど驚き、悲しみ、その夜はなかなか眠れませんでした。

私が、平成 20 年常任幹事会議長の職を辞し副会長に就任したのも、平成 30 年大学の理事に就任したのも、全て五十嵐前理事長のご指導によるものでした。若輩者の私に期待を頂いたことを心より感謝申し上げます。

さて、今年の２月 19 日の理事会において、鈴見校友会会長が理事長に満場一致で互選されました。鈴見理事長は、校友会年度の３月 31 日をもって校友会会長の職を辞すると仰いました。そして３月９日の執行役員会の席に於いてそのことを表明し、校友会会則に則って代行順位順に私が会長代行に就任することになりました。

五十嵐前理事長の急逝、鈴見理事長の就任を受け、今年７月の新役員改選までの数か月ですが、鈴見会長に代わり会長職を代行することとなりましたが、五十嵐イズム、鈴見イズムを継承し、校友会のますますの発展に微力を尽くす所存です。

さて現在、私は創立 100 周年記念事業「駅伝プロジェクト」を支援する特別委員長を拝命しています。五十嵐前理事長が校友会長時代に、母校の学生が正月の２日、３日の両日に箱根駅伝を駆け抜ける姿を目にすることで母校愛を再発掘し、校友会の活性化に繋げ、一丸となって母校の発展に寄与することを目標として設立されました。

今からおおよそ 17 年前の平成 15 年に初めて起案され、平成 17 年に特別委員会が発足しました。初代特別委員長は、長友副会長（元理事長）、その後、角野副会長（現駅伝部総監督）、枝広副会長（現名誉教授）へと引き継がれました。

その間、陸上部駅伝ブロックに係る支援を校友会として独自に立案、予算化し、平成 24 年に初めて箱根駅伝予選会に出場することが出来ました。2017 年の予選会では、当時４年生の矢澤健太君が出場選手中 88 位となり、見事学連選抜に選ばれ、2018 年１月２日、往路１区で大学職員、後援会、校友会の応援を背に見事に完走した姿は、皆様もご存知の通りです。

そうした結果を積重ねで、本校は創立 100 周年記念事業として「駅伝プロジェクト」を発足、本格的に本選出場を目標に、駅伝に特化した学生の推薦制度を開始し、昨年６名、今年 10 名が入学しました。

今年、１月の広報「芝浦」には、五十嵐前理事長が生前最後に寄稿された年頭挨拶が掲載されています。その中には、『2027 年の創立 100 周年に向けた記念事業の要となる「駅伝プロジェクト」の目標は、100 周年までに本学チームが正月の箱根駅伝本選に出場すること』と記されています。この文章を拝見し、五十嵐前理事長の並々ならぬご決意を感じます。

今後は、今まで以上に箱根駅伝出場の支援に取り組むとともに、本学の発展と全学生の支援に全力を挙げて邁進することをお誓いしご挨拶と致します。

副会長・総務広報委員長ご挨拶

芝浦工業大学 校友会
副会長
林田　和雄

建築学科
昭和 52 年 卒業

校友会歴
平成11年　常任幹事就任
平成15年　副会長就任　現在に至る

初めに本年１月にご逝去された五十嵐前理事長に対し、衷心より哀悼の意を表します。本校卒業生の誇りも高く、芝浦工業大学校友会・会長として永年に亘り卒業生と本校を結ぶ絆となって下さいました。また理事長に就任されてからは大学の発展を教職員・卒業生の先頭にたってお努め頂きました。

私たち後輩は五十嵐理事長の志を受け継ぎ、鈴見新理事長のもと、創立 100 周年の佳節を飾るべく、団結して前進しようではありませんか。

現在、新型コロナウイルス感染症の対応に追われる新年度の幕開けとなりました。本校や在校生・卒業生を取り巻く環境も決して安易な状況ではありません。こうした困難な時だからこそ、芝浦工業大学卒業生は社会に役立つ誇りある行動が求められます。今いる職場、社会環境の中で、芝浦工業大学卒業生は「さすがだ！」と言われる一人ひとりに成長して参りましょう。

本年は執行役員並びに常任幹事・幹事の改選時期を向かえます。新たな人材の輩出や登用をもって校友会組織は力強く前進せねばなりません。常任幹事の職を担う若手の登用と経験豊かな諸先輩の団結で「結果を残す」着実な前進を成し遂げて参りましょう。

芝浦工業大学は創立 100 周年への目標を「アジア工科系大学トップ 10」と掲げました。
卒業生の一人ひとりが、創立 100 周年までの自分の目標を掲げ出発する新年度にしたいと思います。

また、永年取り組んできた海外組織づくりの強化を進め、国際化に対応できる校友会づくりが重要です。鈴見前会長（現理事長）と諸先輩のご尽力で発足したシンガポール支部など多くの海外支部の発展を図っていきたいと思います。

更に女性の社会進出が著しいなか、本学卒業生を支援する組織づくりが重要となります。現在、本校には「Siba-jo プラチナネットワーク」に代表される女性の活躍をささえ、その力を本学に貢献して頂ける組織体が存在します。

芝浦工業大学が創立 100 周年へ向け、世界に雄々しく羽ばたくために、校友会は人材輩出のフォートレスとして前進して参りましょう。

総務広報委員会を代表してのご挨拶と致します。

総務広報委員会　活動内容

・広報活動の充実
　①　校友会 HP の充実
　②　各支部活動の支援体制の強化
　③　校友会だよりの発刊
・実学サロンの開催
・校友会職員の労働環境の充実

副会長・財務委員長ご挨拶

芝浦工業大学 校友会
副会長
吉池　富士夫

金属工学科
昭和 51 年 卒業

校友会歴
平成27年　埼玉支部長
平成29年　副会長（財務委員長）・大学評議員（校友会選出）

経　歴
平成25年　㈱LIXIL　専務執行役員
平成28年　飯田グループホールディングス㈱　執行役員
平成30年　同社　社長付

卒業生の皆さまには、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は校友会活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、財務委員会の主な活動は、校友会活動の根幹となっている年度予算策定と実績管理です。各委員会からの年間予算要求を基に原案を作成し、執行役員会に上程審議ののち、常任幹事会の審査承認を経て、全国総会で最終承認されます。

これら一連の過程ついては皆さまにはすでにご理解ご協力頂いているところです。そして、年度内において各委員会活動が予算通りに執行されているかを確認管理し、その結果を全国総会で報告する重要な事項を担当しています。

一方、執行役員としては就職支援委員会のメンバーとなり、在校生すべての希望者が就職できるように大学と連携協議しています。加えて全国の各支部とともに父母懇談会で後援会の皆さんに最近の就職情報をご案内しています。

ぜひ皆さまで校友の輪を益々広めて『就職に強い芝浦』ブランドを向上させ、母校芝浦工業大学の更なる発展に貢献して参りましょう

今後ともご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

財務委員会　活動内容

・基本財産及び流動資産の整理、統合、管理の徹底
・予算書、決算書の作成
・補正予算の対応
・会計監査対応

副会長・事業委員長ご挨拶

芝浦工業大学 校友会
副会長
釜井　重一

建築学科
昭和 55 年 卒業

校友会歴
平成23年　常任幹事就任
平成29年　副会長（事業委員長）就任

経　　歴
平成30年　三井住友建設㈱ 定年退職
平成30年　釜井建設マネジメント㈱　代表取締役就任

校友の皆様、校友会の活動にご理解、ご協力を頂き、誠に有難うございます。心より御礼申し上げます。

事業委員会の活動内容の概略は、下記に記載しています。まず今年、2020 年の新年賀詞交歓会は、五十嵐前理事長の急逝によりご冥福をお祈りする日と変更させて頂きました。また、今年の全国総会・懇親会は昨今の新型コロナウイルスの終息状況が見通せないため断腸の思いで中止とさせて頂きました。校友倶楽部も芝浦工業大学の新型コロナウイルスへの対応方針（2/27 更新）に従い、３月、４月は飲食を伴うイベントを自粛しています。

2021 年 1 月 22 日（金）校友会主催新年賀詞交歓会､2021 年 6 月 12 日（土）全国総会･懇親会（品川プリンスホテル）が次回開催予定となります。

東日本大震災から、ちょうど９年目の今、この原稿を寄稿しようとしています。新型コロナウイルスによるパンデミックが現実味を帯びてきている中、校友の皆様におかれましてはご自愛いただき、元気な姿で支部総会や全国総会などにご臨席下さい。お会いできる日を楽しみにしています。

校友の一員として、芝浦工業大学のために「継続は力なり」を心に、次の世代に引き継いで参ります。

今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

事業委員会　活動内容

1）全国総会懇親会の企画運営
2）新年賀詞交歓会の企画運営
3）校友倶楽部運営
4）他・大学開催事の協力等

副会長・例規委員長ご挨拶

芝浦工業大学 校友会
副会長
本間　哲哉

電子工学科
昭和 56 年 卒業

校友会歴
平成18年　東京総支部 副支部長
平成24年　芝浦技術士会支部 副支部長

経　　歴
昭和58年　日本電気株式会社
平成 8 年　芝浦工業大学工学部　電子工学科

平成 29 年 7 月に副会長に就任し、例規委員長として約３年が経過いたしました。例規委員会は、現在、委員 13 名と顧問 1 名の 14 名で構成しており、約３年間で例規（会則、規則、内規）を精査し、新しい令和の時代に則した規程改正を進めてまいりました。委員・顧問各位、役員・役職者各位、校友会事務局のご協力をいただき、令和元年 12 月 17 日に例規集第３刊を発刊することができました。校友会ホームページにも掲載されています。

現在、母校はグローバル化の進展に伴い留学生も年々増加しており、今後、海外支部の強化など、日本国外の卒業生への対応が益々重要になると考えています。また、校友会として、母校の社会貢献への協力など幅広い活動が必要になると考えます。

私は、校友会会員、母校教員の両方の立場から、母校の各部署との連携・調整に努めながら、卒業生、在校生、母校教員への継続的な支援をして参りたいと考えております。母校の 100 周年に向け、校友会本部・支部と母校との連携もさらに強化していく必要があると考えます。今後も校友会諸先輩のご意見を賜りながら、微力ではありますが、校友会、母校の更なる発展のために努力して参ります。

校友会の皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

例規委員会活動内容

・会則・規則・内規の精査と問題点の抽出
・例規改廃の審議
・例規集第３刊の発刊（令和元年 12 月 17 日）

監査役ご挨拶

芝浦工業大学 校友会
監査役
辻 村　建

建築学科
昭和 46 年 卒業

校友会歴
平成17年以降　常任幹事
平成23年以降　選挙管理委員長、常任幹事会議長、監査役会議長 就任　現在に至る

経　　歴
平成12年　大末建設㈱　取締役　東京本店副本店長
　　大末パートナーズ㈱ 代表取締役
平成24年　芝浦工業大学　施設管財部　担当部長

卒業生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申しあげます。お陰様で監査役任期の最終年を迎え、皆様のご協力に感謝申しあげます。

鈴見校友会前会長のもと、各役職員ご多忙の折にも関わりませず、校友会活動への一丸となった取組により、更なる活性化へ向けた活動推進となりました。常任幹事定数の増強を含め次世代への継承を視野に入れた対応等もなされて参りました。

各支部の皆様におかれましては、交流懇親会等での情報交換と研鑽の他、地域支部分会の設立と新たなる同好会支部組織の発足もあり、校友の輪の拡がりを益々感じた次第でございます。

創立 100 周年へ躍進する母校芝浦工業大学は種々の改革プロジェクトが積極的に推進され、
・「教育環境の更なる高みへの豊洲第二校舎建設」
・「グローバル対応に伴う SGU プログラム高揚推進」
・「文武両道を根幹とした箱根駅伝出場計画」等々、強力且つ着実な成果が拝見されています。

大学教職員の皆様との連携と共に、ご父母の方々との懇談会、交流会での連携強化を通じて、持続的な大学・後援会・校友会の三位一体となった相乗効果の高まりは、芝浦工業大学の強みであります。

理工学系私学のトップブランドへと弛まない変革の進む芝浦工業大学の校友会として、社会で活躍されている諸先輩、校友の皆様方との絆を更に深めつつ「時を大切に、母校・校友との輪を大切に」更なる母校の発展に、より一層の寄与ができますよう努めて参ります。校友の皆様からのご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申しあげます。

本年は諸事情により全国総会懇親会が開催されず皆様とのご挨拶が叶わず恐縮ですが、ご自愛専一に戴き、益々のご健勝ご活躍を祈念申し上げます。

芝浦工業大学 校友会
監査役
小 川　達 生

通信工学科
昭和 51 年 卒業

校友会歴
平成26年　本部常任幹事　就任
平成29年　本部監査役　就任　現在に至る

経　　歴
平成21年　㈱日新コンピュータシステム　代表取締役　就任
平成29年　㈱日新コンピュータシステム　取締役会長　就任
　　現在に至る

本部監査役に就任して３年になろうとしています。「在校生を 100% 就職させる」をモットーに活動を行ってまいりました。

近年は、学生優位の就職環境ですが、それでも 10 月以降内定をもらえない在校生が数多く見られます。まずは、中小企業に在校生が目を向けるよう各地で行われる当校の父母懇談会等において、中小企業の魅力を父母・在校生に向け中小企業に入社した芝浦工業大学の若い卒業生に魅力を語らせております。

その結果、近年多数の卒業生を当社にも入社させていただいておりますが、この２年においては在校生の採用がありません。現時点で昨年より内定率が決して良いわけではありません。

どうしても大企業への就職、公務員になりたい等の理由で就職ができていないのではないでしょうか。また、就職しなくとも生活が出来る景気状況も影響しているように思われます。

監査役としては、定期的に監査役委員会を開催し執行役員会、各種委員会、常任幹事会、イベント等に出席し、その内容を報告、規程に則り委員会活動、本部の活動等が行われているかを監査し問題がある場合、議事録に記述し執行役員会にて報告をしています。四半期ごとには、会計監査を行ない、年度末には資産の棚卸し、次年度予算の監査も行っております。

今後、校友会会員を増やすため自身と関係した地方の校友会活動に積極的に参加し活性化を図り、より良い校友会になるよう努力してまいります。

監査役ご挨拶

芝浦工業大学 校友会
監査役
飯島　敏春

機械工学科
昭和 54 年 卒業

校友会歴
平成20年　本部選出幹事
平成26年　常任幹事・監査役　就任　現在に至る

経　　歴
平成28年　日本通運㈱　参　与
平成29年　日通商事㈱　人事部　調査役　現在に至る

校友会の皆様におかれましては、ますますご健勝の事とお喜び申し上げます。

平成 26 年に監査役を就任より、2 期 6 年目となりました。全国の校友の皆様には、多大なるご助言やご尽力を賜りましたこと感謝申し上げます。この 6 年間には色々な出来事がありました。

平成 27 年：文部科学省より「スーパーグローバル大学創生支援」（SGU）を採択・私立理工科系大学で 1 校
平成 28 年：大宮キャンパス開校 50 周年・システム理工学部創設 25 周年と周年祝賀事業年
平成 29 年：大学創立 90 周年記念、新豊洲付属中学高等学校開設、建築学部スタート
平成 31 年：陸上競技部駅伝ブロック部員の補強スタート、豊洲キャンパス第 2 期校舎建設開始、五十嵐理事長・石川名誉理事長他界
令和 2 年：コロナウィルスの拡散で学位授与式を中止、鈴見理事長就任

と自分自身も激動の 6 年間でありました。この間、大学の SGU 事業は、外国人留学生の受け入れ比率増や日本人学生の留学経験者の増員も顕著であり、「アジア工科系大学のトップ 10 に入る」の高い目標に向けて、着実に前進していると感じております。教職員の皆様のご努力とご苦労に感謝申し上げます。校友会は後援会と共にこの目標に向けて支援する事が大学創立 100 周年に向けての課題であると考えております。

最後に、全国総会後に監査役の職を辞しますが、今後も微力ながら校友会活動に参画させて頂く所存でございます。

校友の皆様におかれましても校友会と母校芝浦工業大学の益々の発展とグローバル化向上のために、なお一層のご支援を宜しくお願い申し上げます。

常任幹事会議長ご挨拶

芝浦工業大学 校友会
常任幹事会議長
長谷川　健 嗣

機械工学科
昭和 57 年 卒業

校友会歴
平成26年　常任幹事就任
平成29年　常任幹事　常任幹事会議長

経　　歴
昭和57年　㈱吉田製作所　入社
平成29年　㈱吉田製作所　取締役　生産本部　本部長

卒業生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

常任幹事会議長の任も、間もなく丸 3 年を迎えようとしております。例年同様に、執行役員会・常任幹事会・所属委員会等へ出席いたしまして、都度、皆様のご尽力に対し敬意の念を深めている次第です。また、常任幹事の皆様にはご多忙の中、常任幹事会での熱心なご討議を頂き「規則の一部改正」を含む「校友会例規集」冊子の編集につきましてご承認を頂きました。厚く御礼申し上げます。

昨年は、二回目の総会議事の進行を務めさせて頂きましたが、執行役員会の皆様と事務局の皆様のお蔭をもちまして無事に閉会することができました。

中でも、昨年二月に急逝された 前機械工学科同窓会支部長 畠中總一郎 氏に送られた「校友会会長感謝状」をご長男が受け取られご挨拶をされたことが心に残っております。

昨年十二月には前五十嵐理事長、石川名誉理事長が相次いで逝去され、静かな年明けとなりました。

しかし、今年の干支「子（ねずみ）」は何かを始めるに適した年、子孫繁栄の象徴とも言われております。

二月の理事会で新理事長に鈴見健夫校友会会長が選出されました。鈴見新理事長には今までにも増して、校友会へのご指導とご支援をお願いしたいと存じます。

校友会全国総会・懇親会は、今回も品川プリンスホテルアネックスタワーでの開催を予定しておりましたが中止となりました。なお、全国総会につきましては審議事項がございますので追ってご連絡が届くことになるかと存じます。

今年度は校友会設立 90 周年＋（プラス）2 年の年となります。今年は箱根駅伝への出場は叶いませんでしたが「準備は着々と進んでいる」と伺っております。大学と校友会が一丸となって支援することになりますので、この流れが校友会の一層の拡大と活性化に繋がることと期待しております。

ご高承のとおり校友会は、本部及び支部選出幹事・卒業生評議員候補者幹事・学内選出幹事より構成される幹事会が基盤となっております。定員は 100 名となっておりますが欠員が生じておりますので、是非、支部各位から幹事・常任幹事をご推薦頂きたく存じます。

皆様におかれましては、校友会活動への変わらぬご理解とご参画を頂戴し、発展し続ける我が母校芝浦工業大学の社会的基盤強化に、ご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

理事長挨拶

学校法人芝浦工業大学
理事長
鈴見　健夫

全国の卒業生ご家族の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は校友会活動にご尽力、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年末に校友会の先輩でもある五十嵐久也前理事長が急逝されてから、新型コロナウイルスの感染拡大への対応と、この期間はまさに本学にとって予期せぬ苦難のときとなりました。これらに伴って、今年の校友会全国総会の開催が中止となったこと、誠に残念に思います。大学にとって最も重要な行事である学位記授与式および入学式も同様に中止となりました。これは 2011 年の東日本大震災以来の対応です。今回の出来事の深刻さを物語るとともに、創立 100 周年に向けて志半ばでご逝去された五十嵐前理事長の遺志を継ぐ立場として身の引き締まる想いでおります。

さて、本学はその源流である東京高等工商学校の創立以来、今年で 93 年目を迎えます。卒業生の数は 10 万人を超え、その 1 人 1 人の弛まぬ努力の積み重ねによって現在の本学の伝統とブランド力が築かれております。今年の一般入試における志願者数は、大学入試センター試験の最終年であったことなどの外的要因もあり昨年比で減少に転じましたが、就職状況とともに全国トップクラスといえます。卒業生の活躍は様々なかたちで大学に還元され、大学のブランド力の向上は現役学生や校友皆の誇りと力となります。これからも「オール芝浦」で大学の発展の一助となって頂けますようお願い申し上げます。

昨年は創立 100 周年事業の目玉である豊洲キャンパス第二校舎新設計画が着工を迎えました。2022 年 4 月の開設を予定しております。本事業が本学の教育・研究力の飛躍的向上とグローバル化のさらなる発展に大いに貢献することを期待しております。

また、もう一つの創立 100 周年事業である「駅伝プロジェクト」については、今年 2 期生 10 名を迎え、着実に実力を伸ばしているところです。今年の箱根駅伝予選会以降、まずは 2018 年の矢澤さん以来の学連選抜での本選出場が期待されます。校友会の皆様におかれましては変わらぬご支援ご声援をお願い申し上げます。

結びに、卒業生ならびにご家族の皆様のご繁栄とご健勝を心から祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

学　長　挨　拶

芝浦工業大学
学　長
村上　雅人

不確実性の時代

いま、世界では、新型コロナウィルス感染症が蔓延しており、人類は大きな試練を迎えています。我々は、この苦難を克服し、持続発展可能な社会を協働で構築する必要があります。

世界は、常に変化しています。現代は不確実性の時代であり、明日なにが起こるかさえ分からないとされています。新型のコロナウィルスが世界に蔓延することなど、半年前には誰も予測していなかったことです。いま、この小文を書いているのは３月ですが、「校友会だより」が発行される時には、世界の情勢はまた変わっているかもしれません。

しかし、過去に予測可能な時代などあったでしょうか。いつでも、どんな時代でも、未来は予測不能なのです。それでは、われわれは何をすればよいのでしょうか。

ダーウィン（Charles Darwin）は、こんな言葉を残しています。「生存競争で生き残る種は、最も強いものでもなく、最も賢いものではない。それは、変化に対応できる種である」“It is not the strongest of the species that survives, nor the most intelligent that survives. It is the one that is most adaptable to change.”将来が予測できない時代には、予測できない変化にも柔軟に対応することが求められます。

そのためには、教育こそが重要です。読み書きそろばんの基礎とともに、理工学の基礎知識を学び、それを実践に応用する経験を積むことも大切です。それができていれば怖いものはありません。

芝浦工業大学を目指す学生は理工系を志し、普段から数字を扱うことに慣れています。これは、とても貴重な財産です。なぜなら、論理的思考をするための基本は、数値データだからです。そして、数字をいかに読み取るかも大切です。芝浦工業大学では、データをもとに論理的な分析を行い、いかに合理的な結論を導くかという教育を常に心掛けています。まさに、不確実性の時代に必要とされる能力を育成しています。

現在、多くの卒業生が社会で活躍してくれていますが、わたしは、芝浦工業大学が実践してきた「社会に学び、社会に貢献できる能力」の育成が実を結んだ成果と思っています。今後も、芝浦工業大学のよき伝統を継承し、世界の持続的発展に貢献できるグローバル理工学人材の育成に努めていく所存です。

Shiba-jo プラチナネットワークご紹介

●オープンキャンパス　キャリアガイダンスに登壇

オープンキャンパス時に実施されたキャリアガイダンス（卒業生企画）に Shiba-jo 会員の５名が登壇しました。現在の業務内容や仕事のやりがい、在学中のキャンパスライフや研究について、大学での学びがどのように業務に役立っているか、高校生のみなさんへのアドバイス等をお話し、大変好評をいただきました。

＜オープンキャンパス詳細＞

大宮キャンパス：2019 年７月 27 日・28 日　各２回

豊洲キャンパス：2019 年８月 17 日・18 日　各２回

● 2019 年度 懇親会について

Shiba-jo プラチナネットワークでは、メンバー同士のつながりをつくり、深めていく機会として、メンバー懇親会を開催しています。今年は３月７日に第５回目の懇親会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となりました。ウィルスが収束した後、改めて企画する予定ですので、興味のある方はぜひご参加ください。

※写真は 2018 年度懇親会の様子

◆ Facebook グループにご参加ください！

Shiba-jo プラチナネットワークの Facebook グループを作成しました。

メンバー同士の交流の場として活用していきたいので、ご興味のある方、ぜひ参加していただけますと幸いです。下記 URL より、グループに参加できます。

URL：https://www.facebook.com/groups/shibajo/

Shiba-jo 紹介

Shiba-jo プラチナネットワークとは

芝浦工業大学の女性卒業生、教職員、在学生でつくるネットワークです。2020 年 4 月現在のメンバーは 201 名となり、発足時に目標としていた会員 200 名を達成しました。

異業種 / 同業者交流の場としてご自身のキャリアに活かすもよし、ご自身の活動を紹介する場としてもよし、再就職のヒントを得る場所など、それぞれの立場で、メンバー同士がこのネットワークを活用しています。ぜひ、あなたの活用方法を見つけてください！

現在は、就職セミナーへの参加など女子学生への支援を中心として活動していますが、今後このネットワークを活用した活動を広げていきたいと考えています。一緒に中心となって進めて頂けるメンバー、活動におけるアドバイスを頂ける方を募集中。

また、在学生支援としてセミナーなどに登壇頂ける方も募集しています。ぜひお気軽にお問い合わせください！

入会申込はこちらから
https://goo.gl/bLzTAj

Shiba-jo プラチナネットワーク会員数

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
人数	87	104	117	130	169	170	201

2020 年 4 月現在

芝浦工業大学男女共同参画推進室内 Shiba-jo プラチナネットワーク事務局
TEL：048（720）6440
E-mail：desk-geuality@ow.shibaura-it.ac.jp

実学サロン

～変革の時代の経営を考える～

校友同士の人脈作りに役立つ実学サロン

2011 年当時、泉澤定雄顧問（当時、副会長・総務委員長）が、在校生向けに取組んで中断していた「実学教育講座」を見直し、主軸を校友会の会員サービスに置いたサロンづくりを総務委員会で検討しました。校友会の会員への情報提供や会員間の情報交換を目的に、「実学サロン」と命名し、講座と交流会（懇親会）を一体に開催する企画を創生しました。当初、講師を外部から招へいしてはとの提案もありましたが、校友の中に活躍している方も大勢いることに気付き、講師は校友の中から選ぶことにしました。

以上の経緯でスタートした「実学サロン」です。社会で活躍する校友や在校生にとって、ビジネス経験や研究活動の実践的経験を聞くことは、楽しく有意義なことであることが理解されました。皆様のご支援で、すでに 30 回開催（右の表を参照）することができました。（小平）

実学サロンの講義を聞いた後は、７階の「校友クラブ」で懇親会が開催されます。写真は、懇親会の締めに“エール”を送っている校友たちです。大変な盛り上がっています。時には、こんな場面をみることができます。

林田和雄総務・広報委員長

評価の高い校友の貴重な実践的な体験談

2012 年の７月に第１回を開催した『実学サロン』です。既に８年目に入っています。

講師は、毎回社会で活躍している校友から選んでいます。30 回の講師（右の一覧）を改めて見てみると実に多才な顔ぶれです。社会に出て活躍している校友達から直接に実践的なお話を伺いたいとの趣旨が成功しています。

参加者から「実務経験に基づく話を聞けた」「専門外の深い講義はとても新鮮に感じた」「色々な職業の方が専門の事を話すので良い企画と思う」「普段聞けないプロのお話が聞けてとても勉強になった」「」自身の視野を広げることができる」などを聞くと講師からの経験談を聞くことは大変有意義です。実学は、その道で体得された方からの情報をヒントにするのが一番です。「実学サロンについて、もっと告知して欲しい」との前向きな要望も寄せられています。広報については、更に工夫します。

実学サロンのホームページでの案内　http://www.shibaura-koyu.jp/salon/index.html

案内は、校友会のホームページをご覧下さい。

実学サロン開催案内連絡サービス　E-mail：sitfriends@shibaura-koyu.jp

案内をメールにて希望の方は、メールアドレスと氏名と学科･卒業年次を校友会事務局まで、下記メールアドレスに、ご連絡ください。

表　実学サロン第１回（2012 年７月６日）から第 30 回（2019 年 10 月 18 日）までのテーマと講師

回　数	開催日	テーマ	講　師	所　属　（講演当時）	卒　業
第１回	2012.7.6	エンジニアリング・ブランド で差別化、高付加価値化	小平　和一朗	㈱イー・ブランド 21 代表取締役、博士	電子工学科 1970 年
第２回	2012.9.28	ウォシュレット の企画・開発を担当して	吉久保　誠一	TOTO 元専務取締役、博士	機械工学科 1964 年
第３回	2012.11.16	アフリカは魅力ある市場か	淺野　昌宏	一般社団法人 アフリカ協会理事	電子工学科 1969 年
第４回	2013.2.8	会社経営の現場で生きる技術経営（MOT）	西河　洋一	㈱アーネストワン 代表取締役社長	大学院工学マネジメント研究科 2009 年
第５回	2013.4.26	イノベーションは止まらない！	阿部　剛士	インテル㈱　取締役 兼　副社長執行役員	大学院工学研究科 博士 2009 年
第６回	2013.6.20	機械工学・人工臓器・バイオレオロジー分野 の研究活動に取り組んで	渡邉　宣夫	本学生命科学科 准教授、博士	機械工学科 2000 年
第７回	2013.9.6	山形の小さな酒蔵の酒造り ―おいしいお酒の作り方と飲み方―	浅黄　雅彦	朝日川酒造㈱	工業化学科 1979 年
第８回	2013.11.22	鋼構造物の溶接	夏目　光尋	元横河橋梁	機械工学科 1959 年
第９回	2014.2.28	高知発・ものづくり企業のおもしろさ	山口　隆士	兼松エンジニアリング㈱ 代表取締役会長	機械工学第２学科 1968 年
第 10 回	2014.4.18	開発作業のマネジメント、失敗した軍用機から学ぶ	長江　洋一	六興電気㈱ 代表執行役社長	大学院地球環境工学 2007 年
第 11 回	2014.7.11	3D 技術がものづくりを変える ―建築業界における BIM の普及、その展望と課題―	志手　一哉	本学工学部建築工学科 准教授、博士	大学院工学マネジメント研究科 2009 年
第 12 回	2014.12.16	医用工学のミクロな世界へようこそ ～高速気泡メスの開発と細胞レベルの医療～	山西　陽子	本学工学部機械工学科 准教授、博士	機械工学科 1997 年
第 13 回	2015.2.27	メディア興亡のメカニズム The Dark Side of Innovation ～「新聞はネットに食われている」は本当か？～	馬場　康志	朝日新聞社 製作本部 企画監理チーム監理担当部長	大学院工学マネジメント研究科 2010 年
第 14 回	2015.7.24	男と女のワイン術 ―あなたのワインの基準・基点を探す方法―	伊藤　博之	オーナーソムリエ兼シェフ	工業化学科 1990 年
第 15 回	2015.9.18	福島第一原子力発電所の大事故から学ぶ リスク管理	大原　武光	元東京電力で各種原子力業務	電気工学科 1962 年
第 16 回	2015.11.24	国土交通省における 公共建築工事に関する最近の施策など	峯村　高志	国土交通省大臣官房 調整官	工学部二部電気工学科 1991 年
第 17 回	2016.1.28	凄ワザ、究極の真球の加工の研究	柴田　順二	本学名誉教授 工学博士	機械工学第二学科 1965 年
第 18 回	2016.3.18	日本の工業技術の礎である鍛冶職について	渡邊　繁美	繁平鍛刀場渡邊繁平（刀銘）	金属工学科 1965 年
第 19 回	2016.5.13	心臓外科手術訓練用シミュレーターの開発 ―良い人との出会いについて―	朴　栄光	イーピーエム㈱ 代表取締役社長	システム工学科 機械制御システム学科　2004 年
第 20 回	2016.9.16	地図と測量 ―建設分野の情報化・高度化を実現する空間情報技術―	中川　雅史	本学工学部土木科 准教授　博士	工学部土木工学科 2000 年
第 21 回	2016.12.9	技術者が学ぶ経済学、商学、経営学 ―ものづくりの実学に原価の把握がある―	谷口　守哉	㈱原田伸銅所 仙台工場副工場長、博士	大学院工学マネジメント研究科 2006 年
第 22 回	2017.4.7	心を強くすることが、人を強くすること ―武術を通して人を育てる―	椎名　市衛	日本伝統文化保存会 会長、工匠	工学部土木工学科 1977 年
第 23 回	2017.5.12	介護者支援事業でビジネス ―知って得する介護の知識―	和氣　美枝	介護離職防止対策促進機構 代表理事	工学部建築学科 1994 年
第 24 回	2018.2.23	中小企業のエンジニアとは ―女性エンジニアが輝くために―	神山　麻子	太洋塗料株式会社 取締役　技術部部長	工学部工業化学科 1994 年
第 25 回	2018.4.11	介護予防、認知予防の生活支援サービスに取り組む ―さわやか健康マージャンで元気を取り戻した高齢者達―	金井　昭三	館山市高齢者福祉課 生活支援コーディネーター	機械工学第二学科 1966 年
第 26 回	2018.6.29	ロンドン五輪で働いた建築士から東京五輪へのメッセージ ＜都市をプレゼンする大会の在り方や計画立案の背景を語る＞	山嵜　一也	山嵜一也建築設計事務所 代表	大学院建築工学 2000 年
第 27 回	2018.9.28	心に響く歌を歌い続けて半世紀 ＜就職せずにジャズシンガーの道を目指す＞	マイケル　中山	ジャズシンガー	機械工学科 1969 年
第 28 回	2019.1.25	コンサートの音づくりを手掛けて 40 年 ＜音楽が好きだから取り組んだ音を伝える技術＞	清宮　昌治	㈱コーストライン 代表取締役	工業経営学科 1979 年
第 29 回	2019.4.12	丸嘉工業の経営と冷間鋳造	土田　英治	丸嘉工業㈱ 代表取締役会長・社長	金属工学科 1969 年
第 30 回	2019.10.18	剣道を通じて世界に通じる ＜グローバルリーダーを目指す＞	多田　竜三	㈱日本武道宮崎・Nbnetwork 代表	機械工学科 1999 年

報告「実学サロン」

実学サロン：第 29 回

2019 年 4 月 12 日　芝浦キャンパス内

丸嘉工業の経営と冷間鋳造

講師　土田（つちだ）　英治（えいじ）
（丸嘉工業株式会社　代表取締役会長・社長）
（1969 年　金属工学科卒業）

今回の実学サロンの講師の土田英治氏は、卒業後すぐに岐阜県各務原市に戻り、父親の経営する金属加工の丸嘉工業に勤務しました。1989 年には二代目社長に就任し、業績を伸ばすと共に冷間鍛造工法を用いた超深穴加工技術を開発するなどして、自動車関連部品を供給してきました。トヨタ自動車のお膝元の岐阜県で、トヨタイズムのサプライチェーンに組み込まれながらも、中国の大連市に丸嘉大連を設立し、電磁ブレーキなどの電機関連部品や X 線 CT 用軸など医療機器用部品を生産し、付加価値の高いトータル精密加工組立メーカーとしても頑張っています。

現在は、冷間鍛造技術分野での新なイノベーション技術の開発や、自社開発技術の他分野への転用にチャレンジしています。地方に根付いた産業を守り、しかも新たなイノベーションにチャレンジしている経営の経緯から、これからの経営について語っていただきました。

昔、ゼロ戦を作っていた各務原の一角で、ものづくりに取り組んでいる

岐阜県の各務原市（かがみはら）からまいりました。会社の沿革をお話いたします。岐阜県には、色々な名所旧跡があります。各務原は、昔ゼロ戦を作っていたところです。私どもは金属団地の一角で、ものづくりをやっています。私は、第 2 代目です。大連にも、工場をもっています。現在は 37 億円の売上で、来年は 40 億を目指しています。なかなか中身が伴っていないのが現状です。2027 年には、50 億円の売上を目指しています。

2001 年に、Y 電機向けの製品をつくるために中国の深圳にでました。2009 年には、大連に移転しました。中国では、20 年間の間で成長しました。しかし、現状はピークアウトし、30% ほど落としています。大連は、ピーク時に従業員が 230 名いましたのが、今は 175 名で、Y 電機向けの製品を約 20 億円ほど作っています。大連では、ロボット向けの電磁ブレーキを作っています。ロボットには、停電時に動きを止めるためのブレーキをつけなくてはならないので、その部品を開発し、ロボットメーカーに供給しています。

経営環境、これからどう変わるのか

2020 年以降にどのようなことが起こるかというと、人口減少だと思います。その他、色々な問題が起こることが予測できます。

人口減少で国力が低下して、GDP が下がって、産業が縮小することが予測されています。堺屋太一が言っていますが、高齢化で 40% 働く人が少なくなってしまいます。やがて稼げない時代が来ると、予測することもできます。

人口減少、EV の時代、AI の時代が来るだろうと予測しています。現在の人手不足で、外国人労働者を受け入れている時代から、人手が余る時代になるだろうとみています。

2030 年の日本は、更に GDP が落ちてしまいます。ロボットが伸びて、AI の時代と IOT の時代に変わっていきます。日本の産業を救うのは AI です。AI の技術が、日本の人口減少を救うと予測しています。

写真 1　「中小企業は、下請けから脱皮しないと、儲けられない」と語る土田英治氏。

2025 年には、モビリティ革命が起きます。EV（電気自動車）のモーターをどこの会社も作っています。大事なことは、EV になることで、自動車メーカーの付加価値が半減してしまうことが予測できます。

ガソリン車、電気自動車の将来の予想図、まだガソリン車もまだ伸びるといわれていますが、ある日突然、電気自動車になって仕事が無くなる時代が来ます。電動化で 3 万点の車の部品が 2 万点になるといわれています。仕入先の仕事は、半分になると予測しています。仕入先が生き残るのが 2025 年からは難しくなる時代が到来します。

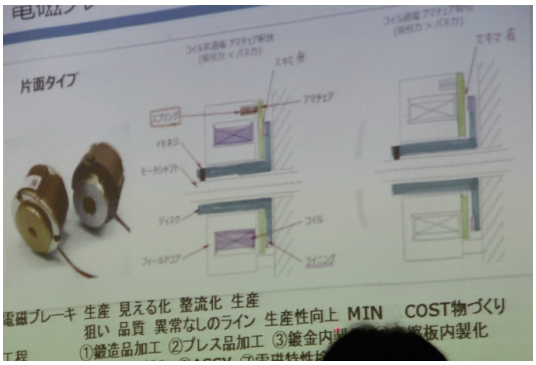


写真２ 「電磁ブレーキの原理」を図解して説明。

日本は生産性が低下し、競争力を失う

生産性の向上が、日本の課題です。日本の生産性が悪いのが現状です。中国や台湾に行って生産したほうが、生産性が良くなります。テスラの仕事が皆、そちらに行ってしまうのもその理由からです。海外は、凄い資本力で設備投資をしています。いかに生産性をあげるかが課題です。

日本の生産性は、22 位です。「ジャパンアズナンバーワン」と踊らされた時代から、今はこんな時代に変わりました。その間に手を打てなかったのはなぜでしょうか。私の会社も、ボトムアップが悪いわけではないが、現場力の QC サークルなどの現場力に頼りすぎて、生産性向上のための資本投下が出来ていなかったことを反省しています

いまからやろうとしても遅すぎますが、ロボットを入れでやらなかったら厳しいので、生産性を向上させるための設備投資に取り組んでいます。

写真３ 「生産性が悪い日本の企業」との報告に聞き入る参加者

丸嘉のこれからのビジョンと戦略

これから進むべき道について報告します。「企業価値を高めたい」「美しい綺麗な会社をつくる」「お客様が喜ぶ会社をつくる」「従業員が喜ぶ会社をつくる」ができて、丸嘉が存在する価値があると考えています。企業価値を支えるのは人間力です。遅まきながら、挨拶をまともにできないとはだめということで、指導しています。また、就業時間内の 7 分間を使って掃除をするようにしています。

現場力を高めるには「生産性をアップする」「在庫を低減する」ことに取り組んでいます。さらに、丸嘉しかできない技術開発を行っています。企業力を向上させるには、「コミュニケーションができる」「サービスが出来る企業になる」ことがあります。先客万来で、お客様にきてもらうとか、お客様が満足していただく企業を目指します。

ビジョンとしては、さすが丸嘉と言われる企業になることを目標としてにしています。「MI60」とのスローガンを掲げました。MI60 とは「丸嘉イノベーション 60」ができる会社になれと指導しています。60 とは、日本の 40 億円の売上と中国の 20 億円の売上で、合計の売上が 60 億円で構築しようという目標です。

お客様を大事にして、ダントツの丸嘉になることです。キーワードは、社員が元気に、楽しく仕事する会社にしなければなりません。

「70% の操業度で生き残れる会社づくり」「不良ゼロの工場。毎年半減、半減でゼロに持っていく」「大きな変化があっても、生き残れる会社にする」「在庫を最小化する」「リードタイムを短くする。その対策は、見える化」「1 個流しが出来る会社。削ったら、メッキも社内でやる」「リードタイムを短くしていく。時は金なりで、コストも落ちる。管理も強化する」が考えられます。新規開発では、ロードマップを作って、何が重点かをはっきりして、取組みます。

【講師略歴】
土田　英治（つちだ　えいじ）氏
1969 年 3 月　芝浦工業大学金属工学科卒業。
1969 年 4 月　丸嘉工業㈱入社。
1989 年　丸嘉工業㈱代表取締役社長（現在）。

報告「実学サロン」

実学サロン：第 30 回

2019 年 10 月 18 日　芝浦キャンパス内

剣道を通じて世界に通じる グローバルリーダーを目指す

講師　多田（ただ）　竜三（りゅうぞう）
（株式会社　日本武道宮崎　代表、NBnetwork　代表）
（1999 年工学部機械工学科卒業）

今回の実学サロンの講師の多田竜三氏は、卒業後、実家である宮崎県宮崎市に帰郷し、剣道防具製造販売を海外市場に拡大するため仏国パリに小売店を開業しました。その後シンガポール・タイ・マレーシア等の東南アジアでも、剣道指導と併せて防具販売に取り組んでいます。

実学サロンでは、各国の現地武道愛好者たちが、どの様に日本及び日本人を見ているのか、日本の歴史や武道に興味をもったのかをお聞きすることができました。豊富な国際的ビジネス経験を持つ若手の OB から体験してきた海外四方山話や、外国人から見た日本人像や武道に対する体験談をご講演いただきました。多田氏は 42 歳で剣道七段を取得するなど、ビジネスと武道の両道に秀でた青年です。

剣道を通じて世界に通じるグローバルリーダーを目指す

私は、宮崎県宮崎市生まれ 1976 年生の 42 歳です。現在は、フランス剣道連盟に所属しています。1999 年に本学の工学部機械工学科を卒業後し、家業の向上を継ごうと思っていました。大学を出たのでアメリカに行こうと思った時に、父から「アメリカは文化が浅い、行くならフランスに行け。フランスなら剣道を理解してくれる」といわれました。　フランスに行って、言葉も分からずに大変な思いをしました。

フランスのサービスをみたら、日本のサービスが通用する、輸出ができると思いました。「日本武道」というお店が 30 年前からパリにありました。阪神大震災が起きたことで大阪の取引と連絡が取れなくなったと相談を受け、直接取引をしてくれとの依頼がありました。1999 年には、剣道防具の輸出を開始しました。

2016 年には、フランスでの剣道具製造も取組むことができました。2018 年には、フランスナショナルチームの宮崎県誘致を果たしました。オリンピックを契機に、海外の人達を呼び込むインバンド事業に取組むことを考えています。スポーツ庁が「武道ツーリズム」と「アウトドアツーリズム」の 2 本立てで考えていて、スポーツ庁の作った“武道ツーリズム”と題するプロモーションビデオに出演することができました。

剣道の魅力とは何か、気の充実を図る

海外で剣道する方は、18 歳位からが多いです。道がつく習い事には終わりがないといわれるように、生涯競技とも言われています。剣道は、体力が衰えたとしても、技術が衰えることはないといわれます。

日本人とはイメージが異なり海外の人達は、大人から始めるので「技術」に対する興味を持っています。日頃から稽古をすることで、健康維持、気の充実を図るとともに、人生の目標を持つことができます。

フランス人は余り働きません。いつも何しているかと思ってしまいます。お昼はワイン飲みながらフランス料理を食べているというイメージで、サービスも悪いし、良くやっていけるなと思ってしまいます。でも彼らの中にも精神性を重視した方達が多いのも否定できません。特に剣道をされる方達の中には、経営者の方もいてハイソサイティーの方々も多くいます。健康維持や気の充実を図るとともに、人生の目標を持っています。

写真 1　「成人から始める外国人剣道家の目的意識は、知識と理屈である。納得しないでやることをしない」と語る多田竜三氏。

剣道は剣の理法の修練による人間形成の道

剣道修練の心構えとして、「剣道を正しく真剣に学び」「心身を練磨して旺盛なる気力を養い」等（図１）と言われます。フランス人達に説明しても、なかなか理解できないようでした。何で剣道が「広く人類の平和繁栄に寄与」が分からないようです。図１に書いてある「国家社会を愛して」というのが大事であると海外の方には伝えました。まずは住んでいる土地を愛することから、世界の平和に伝わるということを説明しました。

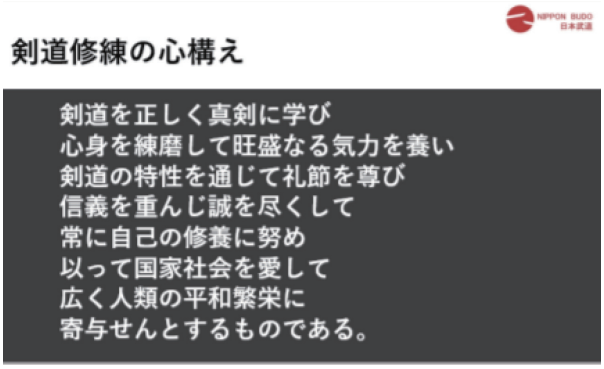


図１　「新進を練磨して」との剣道修練の心構え

外国人が求める剣道、その国に根ざした剣道

「守・破・離」（図２）は良く剣道で使う言葉です。守は教えを守り、破は教えを破る、離は自分の流派をつくるという意味です。海外の人達に説明しようとすると「守」は剣道をやる意味を教え、教えを守ることです。「破」は破ってでも自分でそれを伝えることができることです。「離」とは各国のお国の文化を踏まえて、自分の考えで指導していくことかと思います。

というのは、ハンガリーでの話があります。ハンガリーは、長年戦争で負けてきた国だといわれています。剣道には「打って反省、打たれて感謝」という言葉があります。ハンガリー人にとっては「ハンガリーはずっと負けてきた。勝とうとして剣道を学んでいるのに、負けて感謝する意味が分かりません」と言われます。

説明するには、長く一緒に稽古して、信頼されて、信用されて、はじめて難しい意味が伝えられます。

写真２　海外での体験を熱心に聞き入る学生と校友

図２　「守」「破」「離」を海外の人に説明

５戒（宏道会の道場訓）を海外に伝える

子供たちに「嘘をついてはいけない」といっても、難しいことだと思います。こころの中に留めておくことだと指導します。５戒（図３）を子供にきちんと伝えると、「剣と禅」には、偉人になると書かれています。

海外の人を含めて、子供たちにも伝えなければなりません。何が正しいことか身につくと言われてます。

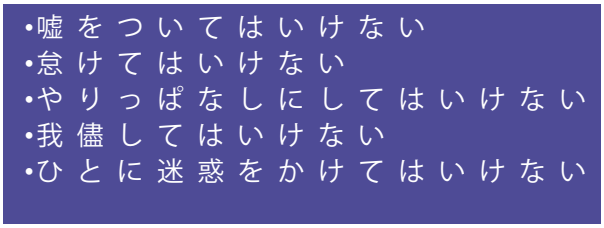


図３　５戒（宏道会の道場訓）（小川忠太郎「剣と禅より」）

海外を虜にする武道の魅力“武道ツーリズム”

東京五輪を控え、訪日外国人の数は右肩上がりで増加しています。日本には海・山・川・湖などの豊かな自然があり、アウトドアを通してその地域ならではの景観・雰囲気・文化など様々なことが体験できます。しかし、日本にしかないコンテンツとして注目を集める分野が「武道ツーリズム」です。

日本の伝統文化の一つが剣道です。子供の頃、町道場や学校の授業、部活動などで触れたことがある方も多いのではないでしょうか。その剣道が世界各地の人たちの心をとらえ、着実に浸透しています。

（引用）スポーツ庁“武道ツーリズム”

【講師略歴】多田　竜三（ただ　りゅうぞう）氏
1999 年３月芝浦工業大学工学部機械工学科卒業。
1976 年宮崎県宮崎市生まれ。
剣道歴 37 年、剣道七段、フランス剣道連盟　所属
1999 年よりフランスにて剣道マーケティングを中心に渡仏。同年、剣道防具輸出開始
2016 年　剣道具製造開始
2018 年　フランスナショナルチーム宮崎県誘致
2018 年　スポーツ庁“武道ツーリズム”プロモーションビデオに出演
https://www.youtube.com/watch?v=amwsFDEVjSg

各界で活躍する校友の皆様

●竹の工芸家「上野正夫」君のこと

故上野正夫（2012 年撮影）

令和元年 5 月 5 日に急逝されました（享年 70 歳）。長野県飯山市出身、千葉県鴨川市北風原（ならいはら）にアトリエを構え、数々の作品を創り出してきました。まだまだこの世界では若手、今後の活躍を期待しておりましたが、非常に残念でなりません。

上野君は昭和 47 年建築学科を卒業しました。故加藤角一名誉教授の研究室（建築史）において「檜原村の住宅」（東京都西多摩郡）の造形について卒論をまとめました。この卒論は、故今和次郎氏（民俗学者・早稲田大学建築学科名誉教授）の弟子であった先生の民俗学或いは考現学的思想を受け継ぐもので、非常に高い評価を受けました。

卒業後、暫くは建設会社に身をおきながら、卒業時に同期生有志と共に東京都中野区新井薬師に設立した「アトリエ萬屋」において、読書会を開いたり張り子等工芸の習作を始めたりしていました。その後、本格的に竹の工芸に取り組み、先達の指導や訓練学校で技術を習得した後、国内外において様々な展覧会へ出品し、同時に屋外での竹を中心としたインスタレーション（= Installation: Site Specific Sculpture; その場特有な彫刻作品・美術表現手法）を行い、環境芸術家として、世界的な評価を受けました。(※ 1)

最近の彼の作品は、自然環境における創作を抜けだし、自然の姿や形、即ち「波」のうねりを思わせる、無限の幾何学的スパイラルをかたちづくることに傾注しているものが、多数を占めるようになっていました。(※ 2)　死の直前に代官山ヒルサイドテラス ART FRONT GALLARY で開催された「春爛漫」展に出品した作品を紹介します。(※ 3)

彼の作品は、日本より海外において高い評価を受けており、日本の竹工芸家として必ず紹介されるようになっていました。「Bamboo Artist Ueno Masao」で Website を探してみてください。上野君の作品群が、建築的空間を理解し独自の世界を築いた希有な存在だったことが分かります。(※ 4)

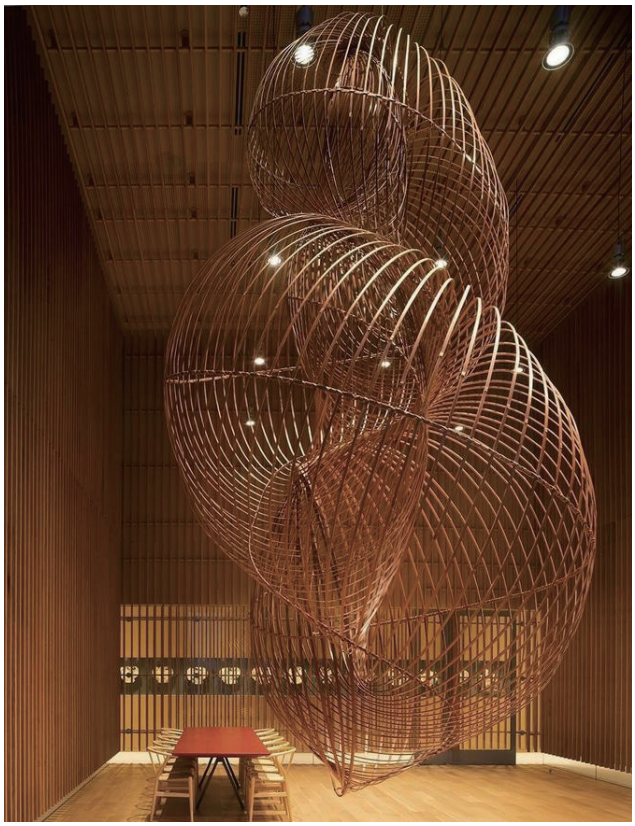
上野君のような、建築学科を卒業した多彩な才能に驚かされることでしょう。

（昭和 47 年建築学科卒　伊津道人記）

※１－2000 年頃の作品（2000 年２月１日発行「ART&CRAFT FORUM」16 号掲載、上野君の手記より）

※２－出典：2019 年８月 Web 記事、掲載された作品
https://www.ngv.vic.gov.au/essay/bamboo-tradition-in-contemporary-form/

※３－2019 年３月　代官山ヒルサイドテラス　ART FRONT GALLARY「春爛漫」展示作品（3 点）



※４－2017 年 , シカゴ．Pritzker Organization の新しい本部に制作した直径 6 feet、高さ 12 feet の天井に吊ったらせん状オブジェ、Bamboo Shelter。

出典：September 4, 2018
Josephine Minutillo
Photographer:
Nic Lehoux,
https://www.architecturalrecord.com/articles/13614-private-office-by-alvisi-kirimoto-and-cannondesign

－上野君紹介記事抜粋－
A spiraling bamboo sculpture, over 6 feet in diameter and suspended 3 feet above the floor, punctuates the soaring volume of the Winter Garden.（多目的室の名称 - ※伊津注）
At its heart, a bamboo sculpture by Japanese artist Ueno Masao is suspended from the ceiling above a table.

MYNA Design & Craft Pte. Ltd.

大塚　亮一（オオツカ リョウイチ）

大学院 工学研究科　建設工学専攻

2000 年　修了

経　歴

1975 年　大阪生まれ
1997 年　多摩美術大学　美術学部　建築科卒
2000 年　芝浦工業大学大学院　工学研究科　建設工学専攻　修了
2000 年　（株）東急アメニックス（2001 年 退社）営業設計
2001 年　（財）日本システム開発研究所 国土計画研究室　研究員
2005 年　（独）中小機構　新事業支援部　インキュベーション事業課　施設整備PM補佐（2007 年 退社）
2007 年　シンガポール移住
2010 年　MYNA Design & Craft Pte. Ltd. を起業

大学院修了後、大手不動産系リフォーム会社を経て、財団系シンクタンクへ入所。研究員として、省庁や地方自治体で地域振興のための政策研究を行う。その後 独立行政法人中小機構で大学発ベンチャー支援に携わる。

2007 年にシンガポール移住。現地の建築設計事務所を経て日系の不動産会社で働いたのち、2010 年に独立。主に商業・公共空間のインテリアと建築照明デザインを手掛けるデザイン事務所、MYNA Design & Craft Pte. Ltd.（以下、MYNA）を起業。

私どもは主にホスピタリティ産業（ハイエンドのホテル、レストラン及び店舗）においてローカルの大手不動産デベロッパーやグローバルホテルオペレーター（ローカル及び欧米系）、大手設計事務所等を顧客としシンガポール国内のシティホテルからアフリカ、中東、東南アジアにいたる赤道・熱帯地域のアイランドリゾートの照明や空間デザインを手掛けております。会社設立後はシンガポールおよび周辺諸国の経済成長と都市の発展とともに、シンガポールにおいて独立系デザイン会社として確固たる信用とビジネスネットワークを築いて参りました。

本年から、シンガポール理工大学（SIT：Dr Chien）と MYNA でヒューマンセントリック照明（以下、HCL）について協働･研究を開始しました。学生の得意とする最先端の照明シミュレーションツール（Elumtools,DIVA 他）を使ったモデル空間の分析や BIM と連携した照明設計のあり方について基礎研究を行う予定です。同時に MYNA が携わった過去及び進行中のプロジェクトをケーススタディとしてリアリティと臨場感ある学習の場を提供するなど、大学の目指す即戦力となるエンジニアの育成を支援しています。将来、熱帯から温帯地域における独自の HCL の開発及び普及を目指しており、当面は大学との協働を通じて HDB などの一般住宅、病院や公共空間、観葉植物のための人工照明などでの照明効果の最適化を行っていいきます。

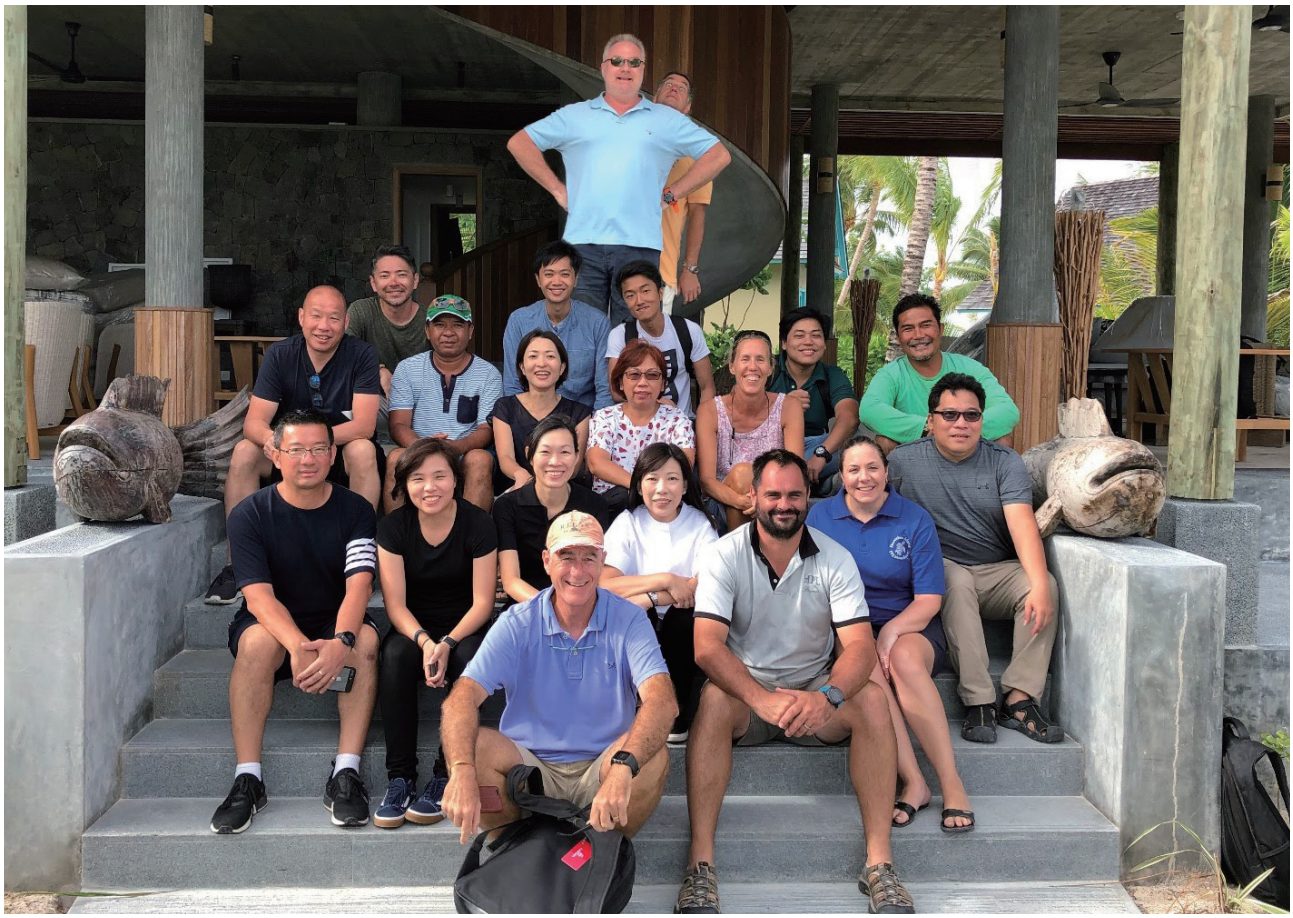
2007 年 4 月、熱帯暮らしへの憧れとともに異国の地での成功を夢見て、好景気に沸くシンガポールにやって来ました。国は既に経済発展を遂げ豊かでしたが、デザインやアート、音楽の分野などの文化面ではまだ発展の余地がありました。最初就職したローカルの建築事務所では細かな設計意図や美意識があまり理解されず、やや適当（？）な仕事のやり方など、日本との違いにすぐには適応できず苦労しました。

そもそも多文化国家シンガポールは、様々な人種や宗教の違いを超えて市民の暮らしが平和に成り立っています。つまり何事にもお互いの違いを認め合う寛容さと柔軟さがとても大切です。2010 年に現地の方々のご支援でインテリアデザインと照明デザインで起業して以来、仕事や暮らしで「ローカル」のライフスタイルや働き方を楽しみつつ、違いを積極的に受け入れ、地道に取り組んで来たことが今日に繋がったと思います。

現在、弊社はシンガポール理工大学とヒューマンセントリック照明（HCL）の開発及び普及をめざした協働・研究を進めております。実はインフォーマルなパーティでの立ち飲み話から始まったのですが、シンガポール特有のカジュアルでオープンなビジネス文化ならではといえると思います。

（本人：手前右端の黒いシャツ着用）

（本人：手前右の黒いＴシャツ着用）



（本人：左手最奥の濃緑のＴシャツ着用）

支部活動報告

北海道支部

支部長　米澤 稔　建築学科　昭和44年卒業

五十嵐前理事長が、昨年 12 月 6 日に逝去され、気持ちの整理もつかないうちに、石川名誉理事長が 12 月 17 日に逝去との訃報を受け、さらなる悲しみに暮れました。

令和元年 5 月 18 日の第 54 回支部総会には、来賓として当時の鈴見会長、五十嵐理事長、野口常務理事ほか、多くの皆様にご臨席を賜りました。五十嵐前理事長にあっては道内出身者でもあり、毎年の北海道支部総会でのあいさつでは、本校の将来展望を熱弁されていました。その面影を偲びながら、支部会員と共に心からの哀悼の意を表します。

新型コロナウイルスにより道内での感染者は、数が多いばかりでなく、陽性と判明した患者数の割合の高いことを道庁が公表しています。支部活動においても、帯広、釧路、北見の各分会の総会が延期とならざるを得ませんでした。一日も早い終息を願って止みません。

新年度は、本校や校友会の情報提供と支部会員の拡大に努め、年間事業の充実を図っていきます。

2019 年 5 月 18 日　第 54 回　芝浦工業大学校友会　北海道支部総会・懇親会
於：ホテルノースシティ

青森支部

支部長　木村 喜有　土木工学科　昭和44年卒業

全国並びに各国の芝浦校友会の皆様、今年創立 42 年を迎える青森支部でございます。本州最北の地で、母校卒業生の青森県在住者約 180 名の中小零細支部として、火を絶やさないよう頑張っております。

毎年の支部総会や近県支部との交流会、2 年前からは東京六大学と東都リーグ大学の青森県在住 OB によるゴルフコンペに芝浦チームとして参戦しております。

当地青森は三方を海に囲まれ、おいしい魚とお酒、夏は青森ねぶた祭に弘前ねぷた祭、八戸三社大祭や八甲田十和田湖、津軽下北半島など自然豊かな土地柄と自負しております。是非全国の校友会の皆様にも青森の魅力に触れ、交流させていただければと存じます。

昨今の首都圏一極集中化で地方の人口流出が止らないのと同様、校友会青森支部会員の先細りの懸念は尽きませんが、今後共、芝浦校友会発展のため尽力して参りたいと思います。

令和元年度　芝浦工業大学校友会　青森支部総会・懇親会

岩手支部

支部長　遠藤 龍一　建築工学科　昭和50年卒業

岩手支部総会は、本部総会の報告を兼ねて６月下旬に開催しております。令和元年６月22日（土）に、盛岡市駅ビルのホテルメトロポリタン盛岡本館で開催しました。芝浦工業大学校友会本部の板垣真人様をお迎えして、支部会員11名の参加の中、和気藹々の開催となりました。

当支部も年々参加者の高齢化が進み参加者も減少傾向にあります。若い人達にも支部参加の案内を発信しておりますが、新規参加者がここ数年無く、苦慮している次第であります。（岩手出身の卒業生は、ここ数年３～５名程です。）

幹事会は総会前、忘年会、年度末の年３回程度の活動です。支部行事としては、11月16日（土）に久慈市に行ってきました。災害ボランティアとして、集中豪雨による河川等の氾濫による泥出しのお手伝いをしました。

岩手在住の卒業生の皆様で、支部総会にご参加されたことのない方は、是非一度参加をお願いします。芝浦での話題やらなにやらで、大いに盛り上がりましょう。お待ちしております。

2019年校友会岩手支部総会

災害ボランティア

山形支部

支部長　川越 進　土木工学科　昭和46年卒業

本年度の支部総会は、新型コロナウィルス対策で延期となりました。この会誌が発行されるまでには、開催できていると期待しております。

本年度は、庄内地区の分会を開催しました。11月30日酒田市にて８名の参加でした。

支部担当役員より前回参加の方を中心に声がけ頂いたのですが、様々な予定と重なり欠席の方が多くなってしまいました。次回は参加するとの声が多く楽しみであります。初めての参加の方もいて徐々にですが校友の輪が広がって行けばと思います。

20代30代の若い方の参加もお待ちしております。山形支部目標は総会・分会合わせ30名参加です。

＜山形支部のフェイスブック開設＞
https://www.facebook.com/shibaura.yamagata
支部の活動案内や情報を発信していきます。
皆様是非ご覧ください。

（令和元年度庄内分会）

福島支部

支部長　樋口 正人　電気工学科　昭和53年卒業

昨年５月定時総会において新たに支部長に就任いたしました「樋口」と申します。校友会の皆様、そして、新たに校友会に入会されました皆様にご挨拶申し上げます。

福島支部は、支部会員の「絆」を大事にして、相互の親睦を深めることを目的とした支部です。これまでの活動内容は、総会、飲み会、地域交流懇親会などがあります。

総会は５月の最終土曜日に開催。大学と校友会本部から来賓をお招きして郡山市で行いました。地域交流懇親会は、例年秋頃開催しております。開催地は、会津、中通り、浜通りと県内各地です。内容は、観光や歴史、地域の問題を考えることなど様々です。

入会して頂きますと、先輩、後輩とのつながりができます。新たに社会人になられた方々や転勤により初めて福島に来られた会員の皆様には、仲間と地域を知る絶好の機会であると思います。是非、仲間に加わってください。お待ちしております。

芝浦工業大学校友会　福島支部総会

双葉郡視察旅行

栃木支部

支部長　池田 猛　土木工学科　昭和48年卒業

栃木支部の活動に際し、校友会本部より格別なご援助を賜り感謝申し上げます。

令和元年度の「栃木支部総会」は、昨年 11 月 10 日に校友会本部から監査役の小川様、大学から理事室顧問の早乙女様のご臨席を賜り、小川様から挨拶を頂いた後、令和元年度の事業計画等が満場一意で採択されました。総会後の研修会では、支部会員による活動報告、さらには早乙女様から大学の現状や箱根駅伝についての取り組み等、大変有意義なお話を頂きました。懇親会では、校友同士の歓談があり、最後に、恒例となっている校歌と応援歌を全員で歌い上げ、盛況の中でお開きとなりました。

栃木支部では、昨年、会員によるゴルフ大会や宇都宮市で整備が進む LRT（次世代型路面電車システム）事業の見学会などを行いました。引き続き、当支部では積極的に活動してまいりますので、栃木県内在住の方、栃木県に所縁のある方などの参加をお持ちしています。

令和元年 11 月 10 日　令和元年度　芝浦工業大学校友会　栃木支部総会（第 18 回）

茨城支部

支部長　増山 栄　建築学科　昭和47年卒業

茨城支部の活動に際して、芝浦工業大学校友会より格別のご高配を賜り感謝申し上げます。

今年度の茨城支部総会は、令和元年 11 月 16 日（土）、水戸市の「三の丸ホテル」にて開催し、大学、後援会、校友会本部並びに近隣支部から来賓の方々にご臨席を賜りました。

総会では、始めに本学工学部長の山田純様、校友会監査役の飯島敏春様から来賓の挨拶を賜りました。懇親会では、多くの先輩・後輩が昔の思い出話や近況報告等について、コミュニケーションを取り合いました。

今年はトーニングセラピストの斎藤祐子様からの心身の健康に関する講演と、ジャズピアニストの根木マリサ様のライブ演奏を行って頂きました。非日常的な空間となり、参加者一同が素晴らしい時間を過ごすことができました。

来年度も今年度以上の皆様のご参加をお願い申し上げます。

全国校友会の皆様、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

群馬支部

支部長　青木 豊治　機械工学科　昭和57年卒業

群馬支部では、上毛三山（赤城山、榛名山、妙義山）に囲まれた関東平野の北に位置した故郷に、1,500 名を超える卒業生が活躍しています。

今年度（令和２年）は、新型コロナウイルスの関係で、３月７日の支部総会を中止しました。非常に残念です。主な活動内容は、３月（毎年第１土曜日）に支部総会と懇親会、６月の全国総会への参加、８月に親睦ゴルフコンペおよび暑気払い、10 月に工場見学や建築物見学会と懇親会を実施しています。幹事会は５回開催し、12 月は幹事会と忘年会です。

支部総会や工場見学（令和１年 10 月、㈱原田・ガトーフェスタハラダ』のラスク製造ラインを見学）では、会員の活躍内容や研究開発を講演して頂いています。懇親会では、一人一人の近況の“1 分スピーチ”を、支部発足以来の伝統として続けています。会場では、会話が活発に展開され、仕事や地域の繋がりとなり、校友の輪が広がっています。今後も会員の探求心の向上、情報の交換、親睦を図って行きます。群馬県の出身者・在住者・在勤者の皆さん、一緒に交流しましょう。

https://www.facebook.com/shibauraob/

埼玉支部

支部長　吉池 富士夫　金属工学科　昭和51年卒業

埼玉支部は、支部域内に大宮キャンパスがあります。そのため、大学との近い関係を踏まえ、在校生や父母者会など、積極的な繋がりを保ちながら、校友会活動を推進しています。

ここで、埼玉支部における校友会活動骨子をご紹介させていただきます。

1.「次世代へつなげる活動」

埼玉支部では、未来を見据え、若い世代がより多く参加しやすい校友活動に取り組んでいます。そのため、これまで埼玉支部を構築し、支えてこられた先輩達からの継承しやすい運営を心がけています。

今後も、支部総会（添付写真）や父母者懇談会など、様々な校友会行事を通じて、「次世代へつなげる」埼玉支部の構築を目指してまいります。

2.「開かれた活動」

毎年開催する「支部総会」や「県内まちあるき会」など、様々な支部行事の打ち合わせでは、校友倶楽部を利用させていただき適宜開催しています。

その協議会では、支部幹事役員に加え、若手メンバーの参加と合わせて、仕事や家庭など一人ひとりが語りやすい雰囲気づくりに努め、ワイワイガヤガヤ意見交換ができる「開かれた活動」を推進しています。

3.「今後の活動」

令和２年の支部総会は、大宮キャンパスにて 10 月３日（土）に開催予定です。なお、春の「県内まちあるき会」「（仮題）行田市散策と酒蔵巡り」は延期とし、今後の社会状況を鑑み開催する予定です。（改めて、お知らせ致します）

＊埼玉支部一同、埼玉に所縁のある校友の皆様のご参加をお待ちしております。

千葉県支部

支部長　金井 昭三　機械工学第二学科　昭和41年卒業

2020 年度千葉県支部総会を２月 22 日に千葉駅西口の「ナンハウス」で開催しました。また、成田分会、柏分会を開催し、合計 45 名の会員が集いました。

総会には大学の朱田理事、校友会本部の吉池副会長、東京総支部、神奈川支部、多摩支部、群馬支部のご来賓をお迎えして有意義な総会及び懇親会を開催することが出来ました。現在会員数は 151 名です。

千葉県支部は今年度下記の課題に取組み支部活動の活性化を目指します。

1．会員の増員（校友会本部 HP や FB の活用による広報活動の強化）
2．分会を４ヶ所で開催
　「木更津・房総分会」　「船橋・市川分会」
　「成田分会」　「柏分会」
3．若い世代、女性、家族が参加しやすいイベントの開催
4．親睦ゴルフコンペ開催（春４月、秋 10 月）

千葉県支部は分会を増やし、会員が気軽に参加できる環境を整えます。

千葉県在住の方や県内企業にお勤めの方、千葉に所縁のある校友の皆様の参加をお待ちしております。

千葉県支部総会

東京総支部

支部長　谷川 潮　機械工学第二学科　昭和45年卒業

東京総支部総会は、令和元年 11 月 15 日に豊洲キャンパスにて開催しました。大学から野口常務理事、校友会本部から加藤副会長、後援会から柴山会長、近隣支部 4 支部長、会員の皆様総勢 100 名以上の方々にご参加いただきました。

総会では「大学は創立 100 周年を迎える 2027 年に、アジア工科系大学トップ 10 の地位確立を目指す」活動が始まっており、東京総支部も呼応する形で会員の拡大を最大目標に、積極的に大学、後援会に対し協力する活動内容について説明がなされました。

一方講演会は、「箱根駅伝本選出場を目指して」の演題で大学駅伝部前田直樹監督を迎え、駅伝のこれからの組織と課題を中心に熱く語られ、大いに盛り上がりました。今年度の総会も 11 月に同じ場所行う予定です。

今後も和気あいあいとした楽しい交流の場として会を盛り上げ、参加者増加への環境づくりをしていきたいと思いますので、皆様のご参加をお待ちしております。どうぞ気軽な服装でご参加ください。

芝浦工業大学校友会　令和元年度　東京総支部総会

多摩支部

支部長　中根 眞行　工業経営学科　昭和55年卒業

校友会会員の皆様、多摩地区に在住の卒業生の皆様、如何お過ごしでしょうか。

多摩支部は、昨年 7 月に 8 名の大学・校友会関係のご来賓の皆様と 31 名の会員の参加を頂き、支部総会・懇親会を開催致しました。この先も他支部に後れを取らないように支部の活性化に努め、大勢の皆さんに参加して頂けるような総会を開催していきたいと考えております。

昨年は支部イベントとして「高尾山登山とビアマウント」の開催や恒例の「箱根予選会応援」への会員の動員、他にも忘年会、新年会など開催して皆さんが楽しみにして頂けるような支部作りを目指しております。

また、大学・校友会・支部のトピックスをメール会員の皆様に、最新情報として都度お届けしております。現在のメール会員数は、100 名近くになって参りました。（新規にメール会員を希望される方は、是非ご一報下さるようにお願いいたします。）

今年度の支部総会は 7 月 17 日に芝浦キャンパスにて行います。是非こちらにも足を運んで下さるようにお願い致します。支部役員一同心よりお待ち申し上げております。

芝浦工業大学校友会　令和元年度　多摩支部総会

神奈川支部

支部長　長井 義明　建築学科　昭和47年卒業

支部総会は「横浜ローズホテル」で９月１日（土）に開催しました。支部会員、ご来賓で 40 名が参加されました。講演は、神奈川県政策局　太田裕子 SDGs 推進担当部長様から、最近マスコミで取り上げられている「SDGs の取り組み」についてご講話を頂きました。参加者から県内企業の取り組み状況とか議員や役員の胸のバッジなどの質問があり熱心に聴講されていました。その後の懇親会では、卒業生の音一平さんの恒例のギター演奏で和やかに充実した時を過ごしました。

８年前から湘南海岸で「地引網」を開催しています。昨年は支部員がご家族を連れで 117 名もの大勢で参加されました。晴天に恵まれ魚も多く取れ、大いに盛り上がりました。しかし、今年は新型コロナウィルス感染防止の為残念ですが中止となりました。しかし、湘南の海を有する支部の特徴を生かした江ノ島セーリングを３回目の実施に向けて検討中です。

この様な支部員相互の懇親の場を作る為に役員一同で定例会を開催しています。

芝浦工業大学校友会　令和元年度　神奈川支部総会
令和元年９月７日　於：ローズホテル横浜

長野支部

支部長　北村 武彦　建築学科　昭和45年卒業

当支部は、長野県下を４ブロックに分け、実質的には４分会があるような組織をつくっています。その理由等については略しますが、支部・３分会総会への出席者数の合計は、結構多いと総会来賓から伺っています。

一方、「2019 年度校友会支部総会資料」と「2019 年卒業生校友会会員名簿」を読み解くと、長野県出身者に係るアンバランスが見えてきます。志願者数は、関東圏域１都６県を除くと第２位の 804 人ですが、入学者数は 146 人。2019 年校友会名簿に長野県下を住所地として登録した方は、わずか 39 人です。２年毎に開催される父母懇談会への卒業生参加者を募った際、開催市近辺の卒業生、２ケ年度 20 数名を一覧とし電話照会しますが、勤務先が県外という方が大半です。就職先企業の数との関連もありましょうが、U ターンされる方が非常に少ないといえます。

現在の支部会員の結束を高め、若い会員の勧誘が重要な課題となっています。

富山支部

支部長　福井 幸博　地域環境システム専攻　平成23年卒業
電気工学科　昭和55年卒業

富山支部は、今年で創立 42 年目を迎え、登録会員数は約 540 名です。今から 50 年前、富山・石川・福井の卒業生が石川県に集まり、北陸支部を設立しました。その後分離し、富山支部ができ、平成 30 年 10 月 6 日に富山支部創立 40 周年記念式典を開催しました。

支部 40 年の歴史を振り返ると共に、村上雅人学長をお招きし「夢を与える教育―AI 時代を元気に生きる」という演題で記念講演をいただき、会員一同感銘を受けました。

支部の主な活動は、総会とゴルフ会です。ゴルフ会は、首都圏にある 6 つの理工系大学の卒業生で行われる「富山県東京理工六大学 OB ゴルフ大会」（毎年 5 月に開催）に参加し、母校の名誉をかけ熱戦を繰り広げています。

新年度は、富山県内校友の交流深化の他、大学及び校友会本部事業に参加する方針のもと、地元はもとより地域外の校友との広いネットワークを構築し、支部会員が豊かな人生を手に入れるように活動していく予定です。

令和元（2019）年度　芝浦工業大学校友会　富山支部総会

芝浦工業大学校友会 富山支部創立 40 周年記念式典 記念講演
村上雅人学長「夢を与える教育―AI 時代を元気に生きる」

石川支部

支部長　多田 哲則　建築学科　昭和54年卒業

令和元年度の支部総会は 7 月 5 日（金）に、校友会依田事務局長、大学から守田副学長をご来賓としてお招きし開催いたしました。

その総会において、前任の西正次先輩より支部長を引き継ぎました。諸先輩方が作り上げてきた歴史ある支部の長として身の引き締まる思いです。微力ではありますが支部の発展に寄与したいと思っております。

石川支部は本年、前身の北陸支部から数えて 50 年の節目を迎えます。7 月の支部総会に合わせ、大学より村上学長をお招きして創立 50 周年記念式典を開催する予定です。

本年の主な活動として、前支部長以来行っている県内進学校への大学 PR を各校 OB にお願いして夏場に行いました。近年の本学の躍進ぶりをお伝えしましたが、まだまだ認知度が足りないように思いました。今後も引き続き行っていこうと思っております。

この原稿を書いている 3 月は、世の中「新型コロナウイルス」一色で学校は休校、各種行事はほとんどが延期中止となっています。この支部紹介が読まれる頃、世が平穏を取り戻し我が支部の記念式典を含め各種行事等が無事行われることを祈っています。

芝浦工業大学校友会　令和元年度　石川支部総会

岐阜支部

支部長　平井 良樹　工業経営学科　昭和57年卒業

岐阜支部では、支部総会を毎年７月第３週土曜日に開催することにしています。現役多治見市長の古川氏をはじめとして、毎年 20 名前後の方にご参加いただいており、毎年少しずつ増えてきています。

支部総会は毎年、岐阜市で開催していますが、今後は飛騨市などでも開催し、さらに参加しやすい環境を整えて行きたいと考えております。

信頼し合える仲間が集い、情報交換をし、友情を深めることにより、さらに有意義で充実した支部にしていきたいと考えております。

支部総会案内が届きましたら、是非ご出席で返信していただきたく思います。

一人でも多くの参加をお待ちしております！

静岡県同窓会支部

支部長　鈴木 和幸　土木工学科　昭和50年卒業

第 42 回支部総会を令和元年７月６日に開催し、来賓７名と 30 名弱の会員が集まりました。

Ⅰ部の支部総会議事は滞りなく進み、恒例の講演会は、静岡市観光交流文化局歴史文化拠点推進監　中村羊一郎様より「徳川家康と駿府城下町」と題しまして、意外と知られていない事や興味深い講演を戴きました。Ⅱ部の懇親会では、愛知、岐阜、神奈川の各支部来賓から挨拶を頂き、例年にも増してビンゴで盛り上がりました。

令和元年９月 22・23 日には静岡市立高校に於いて、最後の「少年少女ロボットセミナー in 静岡」が盛大に開催されました。この時の様子は新聞各紙に写真入りで掲載され、芝浦工業大学の名を静岡地区に更に広めたことと思われます。

この記事を御覧の静岡県関係者の方で、当支部の活動に興味を持たれた方は是非ご連絡をお待ちしています。

昨年、支部のホームページの改訂を行いました。新しいアドレスは下記の通りです。一度覗きに来て下さい。

http://sit-shizuoka.sub.jp/

令和元年７月６日　芝浦工業大学校友会　第 42 回静岡県同窓会支部総会

令和元年９月 22・23 日「少年少女ロボットセミナー in 静岡 2019」　於：静岡市立高校

愛知支部

支部長　榊原 周造　建築工学科　昭和45年卒業

愛知支部は、校友会本部、後援会東海支部と連携して活動を行っています。
2020 年（令和 2 年）度の活動予定を紹介させていただきます。

5 月 16 日（土）	第 52 回ゴルフコンペ　予定 東名古屋カントリークラブ
6 月上旬	芝浦工大　愛知だより発行
6 月 13 日（土）	校友会全国総会　出席予定 品川プリンスホテル
7 月 11 日（土）	第 44 回愛知支部総会　予定 キャッスルプラザ
8 月下旬	父母懇談会東海支部総会　出席予定
10 月上旬	少年少女ロボットセミナー in 名古屋 毎年後援会東海支部の方々と協力して進めています。
11 月中旬	第 53 回ゴルフコンペ　予定
1 月上旬	校友会賀詞交歓会　出席予定
2 月 6 日（土）	後援会東海支部との合同新年会　予定

新しい会員、転勤等で県内に在住の方は是非声を掛けて下さい。
E-mail：info@garden-g.com　榊原までよろしくお願い致します。

「少年少女ロボットセミナー in 名古屋 2019」– 最後のロボットセミナー

関西支部

支部長　松岡 英治　工建築学科　昭和54年卒業

令和元年度の関西支部総会は 11 月 15 日（金曜日）に、「個室＆パーティ会場 Morishita」にて開催しました。来賓として校友会からは鈴見会長を迎え、さらに五十嵐理事長の特別参加もあり、関西支部会員 40 名と併せ総勢 42 名での支部総会となりました。
懇親会は昨年に引き続き今年も、若手会員の企画による「全員参加の楽しい支部総会」をテーマに実施し、全員参加のクイズやゲームを行うなど、昨年以上に盛り上がった総会となりました。総会の最後には校歌斉唱・エール・集合写真撮影を行い閉会としました。
支部総会翌日は恒例の親睦ゴルフコンペを実施、鈴見会長を含め参加者 15 名にて、和気あいあいの中で開催する事が出来ました。
関西地区在住の卒業生の方々には、支部総会・親睦コンペに是非参加して頂ける様、心よりお待ちしております。令和 2 年は 11 月 13 日（金曜日）に開催予定です。翌日は恒例の親睦ゴルフコンペも予定しています。

芝浦工業大学校友会　令和元年度　関西支部総会

第 20 回芝浦会ゴルフコンペ
令和元年 11 月 16 日　於：愛宕原ゴルフ倶楽部

島根支部

支部長　浅野 正教　建築学科　昭和45年卒業

島根支部の登録は 60 名弱ですが、総会などへの参加は 10 人に満たないということが有り、何とか支部活動を活発にと考え、まず総会で会員メンバーに発表の場を設けることを実施しました。会員のこれまでの仕事や活動の中からテーマを選んでもらい、それを 45 分程度で発表してもらいます。建築や都市計画に関わった話や、健康に関する話、地元の雪州庭園をもっと町おこしに活かそうとする話など、会員個人がそれぞれに関わったことなどを紹介してもらっています。7、8 年続けて実施するほど会員からは好評をいただいています。

２月は中国ブロックの支部長会議を松江で開催しました。コロナウィルスなど何するものかとしっかり議論し、楽しく懇親会を行いました。このまま先細りではいけません。

少しずつ活動の機会も増やしていきたいと思っています。

平成 31 年度総会

広島支部

支部長　川本 勝一　建築学科　昭和45年卒業

広島支部は 1982 年に発足し、今年度で 39 年目を迎えます。昨年度の主な事業活動内容を紹介させて頂きます。

第 38 回定期総会・懇親会は会員 56 名の参加で、盛会裡に終えることができました。また、備後分会にも、会員 13 名が参加しました。

イベント活動は、ゴルフ２回、釣り２回、囲碁４回、ハイキング・登山１回に加え、新たに「音楽バンド」を立ち上げ、早速懇親会にて披露がありました。特色あるイベント活動により、末永く趣味を共有できる仲間創りが出来る事を期待しております。

今年度は次年度支部創設 40 周年にむけて、中長期イメージ「多くの会員＆豊富な実績で存在感のある広島支部」をモットーに、次の３つの重点方策を掲げております。

①「定期総会・懇親会に継続可能な出席者の獲得」
②「会員相互の親睦を図り、モチベーションを高める仕組みづくり」
③「支部活動の PR」

この３方策を、会員一丸となり＂静穏精進に敵は無し！”更なる支部の発展を目指します。

支部総会

備後分会

山口支部

支部長　福田 隆行　土木工学科　昭和50年卒業

近年県央山口市での総会開催が恒例化してきておりました支部総会を、令和元年度においては、３年前に日口首脳会談が開催された県の北西部の長門市にて開催しました。これまでにも、県周辺地域の会員の参加を促すため岩国市、萩市、下関市などにて開催しております。

昼の部ではアイランドゴルフ宇部で、10 名の会員が珍プレー好プレーを展開し、楽しく良い汗を流しました。

また総会には、校友会、大学、中国ブロックからご来賓の参加をいただき、近松門左衛門にちなんで建設された「ルネッサながと」（山口県民芸術文化ホール）の会議室でおこないました。

総会終了後には、施設のご好意により劇場内の見学とステージでの記念撮影を行いました。

懇親会は来賓を含め 16 名と少人数ではありましたが、地元幹事の取り計らいにより、山口県自慢のふぐのフルコースとひれ酒、萩の地酒と大いに盛り上がりました。

今年度の総会は、11 月 14 日（土）山口市での開催を予定しております。

皆様の参加を楽しみにしております。

「ルネッサながと」劇場内舞台上にて

高知支部

支部長　依光 成元　建築工学科　昭和56年卒業

高知支部では、平成 31 年度総会、忘年会と例年の事業を行いました。また、令和２年度総会の準備役員会を開催し、今年度を終えようとしています。しかし、この原稿を書いている時点では、コロナウィルスの影響で、総会の開催も危ぶまれています。この事態が収束を迎え、私共支部だけでなく各地の支部総会が無事開催される事を祈っております。

高知支部では、総会・忘年会の他には、定期的な会合は行っておらず、活動自体が親睦中心となっています。また、高知県は就職先が限られるため、地元で就職する卒業生が少なく、新規入会者もほぼいない状況が続いています。校友会活動を通じて大学の魅力を発信し、県内からの入学者を増やす事ができれば、卒業後、我々の世代のように、少数でも地元で就職する方もいるはずで、それが会員増強と支部の活性化につながると思います。

この様な状況ですが、今年も頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

福岡支部

支部長　角 敬之　工業化学科　昭和45年卒業

令和最初の総会を６月29日工学部長山田教授、校友会本部林田副会長並びに近隣支部長のご臨席を賜り開催、予算等全議案を承認され無事終了しました。昨年は台風で中止を余儀なくされた事を思うと、滞りなく開催でき、大変良かったです。

支部活動として10年継続のロボットセミナーが、今回で終了との連絡を受けての実施となりました。後援会、福岡工業大学の学生の支援も受けて開講、時間内に受講者40名全員が組み立て完了。

自作ロボットで競技に興じる姿に、後援会役員もこの事業の中止を残念がっておられました。芝浦工業大学の名をPRする絶好の機会を失ったことは残念です。

９月16日には、父母懇談会に併せてブロック支部連絡会を開催し、共通課題である活性化策や卒業生評議員ブロック候補者選出について活発な議論を行いました。

また９月６日には、九州各県支部からの参加のもと湯布院ゴルフ大会を開催。夜は山荘で美味しい酒を酌み交わしながら、深夜まで親交を深めることができました。

熊本支部

支部長　永田 昂生　土土木工学科　昭和42年卒業

平成28年４月14日（前震）16日（本震）から、早くも４年が過ぎました。全面復興までは、まだまだ時間がかかりますが、熊本城の大天守は徐々に元の姿を取り戻しつつあります。

今年度も、この大天守を目前に臨める「熊本ホテルキャッスル」の11階にて、熊本支部定時総会･懇親会を、令和元年９月11日に開催しました。校友会から角野和明常任幹事をお招きし、福岡・大分・宮崎・鹿児島の支部からも出席を頂き、多数の参加者で盛大に開催することが出来ました。

昨年に引き続き、母校の宣伝を兼ねて熊本の地方紙である「熊本日日新聞」に、「熊本支部定時総会」の案内広告を大きく掲載しました。

毎年行われている「東都リーグ大同窓会」は、令和２年６月６日に開催を予定しました。多数の参加者で親睦を深める予定です。

令和元年度熊本支部総会集合写真

佐賀支部

支部長　山田 清人　通信工学科　昭和48年卒業

昨年８月の集中豪雨では各地で甚大な被害が発生しました。佐賀県内でも床下浸水、土砂災害などが発生、昨年総会を開催した佐賀支部会員経営のお店も床下浸水等の被害がありました。

そういった状況の中でも、佐賀支部では 10 月 19 日（土）、佐賀市の龍登園で総会を開催、来賓として早乙女理事室顧問、校友会の板垣常任幹事などを迎え、18 人の参加を得ました。

早乙女顧問から、ここ 10 数年間に建設整備された建物など各キャンパスの整備状況の詳しい報告がありました。また、保護者の参加もあり、大学、支部会員と情報の交換、親睦を深めました。

年４回程度の幹事会を開催していますが、話題は若い人の支部会への加入。若い年代が気軽に集まれる環境づくりを進めたいと思っています。

鹿児島支部

支部長　小薗 定夫　建築工学科　昭和48年卒業

昨年度、鹿児島支部『愛称：芝鹿（しろく）会』長を拝命致しました小薗です。

引き継ぎに当たる最初の支部総会の開催は、台風の影響を受け直前で当初７月開催の予定を延期せざるを得なくなりましたが、10 月に 24 名の参席のもと行うことが出来ました。支部として最大イベントの支部総会ながら、御出席頂いた御来賓や会員各位には多大な迷惑を掛けてしまう形のスタートとなってしまいました。

登録会員数の半数程度の出席者が現状となっている支部総会ですが、今後は１人でも多くの出席者を確保できるように『校友会会員名簿：追補版』などを活用致しております。　早速県内に住所表記のある 2019 年卒業生に、支部の存在を周知すべく連絡を差し上げているところです。また、その連絡の際には、県内における『芝鹿会員相互の絆』は、ひと際強いものであることを申し添えております。

世の中は電子通信時代…とは云え芝鹿会員は、対話の中で生まれる『地肌の絆』がそれ以上であることを確信しながら活動しております。

沖縄支部

支部長　仲西 聰　土木工学科　昭和56年卒業

沖縄支部は、会員数が 70 名あまりで、支部総会参加者が常時 10 ～ 15 名の小さな組織です。また、沖縄地元出身の本大学の新規卒業生がほとんどいない状況です。会員の増加がなかなか見込めないのが現状です。

高齢化が進み少ないメンバーですが、出来るだけ若いメンバーを取り込むために、昨年の支部総会･懇親会は、ビーチでの開催としました。「コミュニケーション大事！」と「参加して楽しい！」をキーワードに、写真のように楽しい懇親会ができました。

これからも色々と工夫して沖縄支部の存続を維持して行きたいと思います。

沖縄では、昨年の 10 月末に首里城の焼失という衝撃的な悲しい出来事がありました。首里城は沖縄の歴史・文化を象徴する城であり、首里城の歴史は琉球大国の歴史でもあります。校友会沖縄支部も、地元代表として一人一人が違った形で、再建に向けて貢献できるように日々頑張っているところです。

上海支部

支部長　芝田 明久　建設工学専攻　平成4年修了

上海支部は 2016 年 1 月の設立から、丸 4 年が経過しました。上海～蘇州を中心とした、中国華東地区の OB/OG で活動しており、卒業学科も年齢も、幅広いメンバーが集まっています。海外支部の性質上、駐在員の方が多いため入れ替わりが激しいことが上海支部の特徴です。昨年度は 5 増 1 減、20 歳代の平成生まれの方にもご加入いただきました。

ご夫婦ともに芝浦の OB/OG でお子様も帯同の方が加入されたことと、山形ご出身の方がいらっしゃることもあり、11 月には支部メンバーのご家族、ご友人、中国人の方を含め 40 名近くにご参加いただき、本場仕込みの「芋煮会」で盛り上がりました。また中国では安価に調達可能なため本部の許可をいただき、支部旗を独自に制作しました。

執筆段階では COVID-19 の影響で予定していた支部総会が延期になってしまっていますが、今年も上海で活発な活動を行っていきたいと思います。

シンガポール支部

支部長　長尾 剛　建築工学科　昭和61年卒業

シンガポール支部は、2013 年 12 月に設立され、今年で丸 6 年目となる新しい支部です。2019 年 9 月に、校友会本部よりシンガポール支部旗を頂くことができました。

2019 年末時点での会員数は 25 名。東南アジアのハブという土地柄もあり、マレーシアのペナン島でのプロジェクトを終えてシンガポールに戻ってこられた会員の方や、逆にベトナムのハノイやアフリカのモザンビークへ異動される会員の方など、入れ替わりが多いというのもシンガポール支部の特徴です。

昨年度は、支部総会の他に、シンガポールのトンネル工事現場に、インターンシップの学生として来ていた土木工学科３年の荻野さんを囲んで夕食会を開催しました。

最初は緊張していた荻野さんも、会員の方々と話をするにつれ打ち解けてきて、OB/OG と学生との交流を深めることが出来ました。

シンガポールに東南アジアの統括部門を置く企業も多く、近隣諸国を飛び回っている会員の方やマレーシアにお住まいの方など、みんなが集まる機会を設けるのは難しいですが、夕食会やボーリング大会等、さまざまな活動を通じて会員間の親睦を深めていければと考えています。また、フリーペーパーへの広告掲載などを通じて、芝浦工業大学および付属高校・中学の卒業生の方々に校友会に入っていただけるような取り組みも行っていきます。

機械工学科同窓会支部

支部長　髙木 光一　機械工学科　昭和48年卒業

本支部は、校友会唯一の学科同窓会支部として 2012 年に設立されました。

機械工学科同窓会としては、1972 年頃から定期総会を中心に活動を進めてきました。会員相互の親睦を図るとともに、芝浦工業大学機械工学科のよき伝統を伝承し、社会に貢献することを目的に、同窓会会報（2020 年は第 37 号）の発行、同窓会総会、幹事会、講演会、親睦会、懇親会などの事業を行っています。

10 月に開催を予定していた同窓会総会は、大型台風の襲来を受け、年明けの 1 月開催となりました。総会では、機械工学科石井康之教授（物理学担当）の興味ある講演に耳を傾け、さらには、会員同士や現役教員・学生さん方と有意義な懇親会が開催できました。

特に、大学および在校生との交流を大切にしており、新入生懇親会への協賛、現役教員との懇親会、PBL（問題解決型学習）授業のコーチ役や、発表会では会員による特別講演、などの活動をしています。卒業生へは、卒業記念品を毎年贈呈しています。

2019 年度　機械工学科同窓会支部　総会・懇親会
2020 年 1 月 25 日（土）　於：豊洲キャンパス

英交会支部

支部長　淺野 昌宏　電子工学科　昭和44年卒業

◆学生との交流（田町キャンパス）◆

英語部学生との交流を重視しており、社会人先輩である英交会員から学生へ各々の社会活動状況を伝え、支援しています。2019 年 6 月 2 日、淺野支部長により、自身の職歴や現在の活躍を交えた、演題「アフリカは面白い」を学生と英交会員に対して講演頂きました。講演後は校友倶楽部で、学生･英交会員間の親睦を深めました。

◆遠隔地の会員との交流（安藝）◆

2019 年 9 月 14 日～ 15 日、英交会員が活躍する地域訪問として役員 6 名で恒例の親睦旅行を実施しました。遠隔地在住で、中々会う機会がない会員との交流が図れる場の創出であり､年 1 回実施しています。今回は、広島在住会員 3 名にご案内を頂き、大変お世話になりました。

岐阜･愛媛在住の会員 2 名にも駆けつけて頂きました。

◆ 2019 年度の主な活動◆

6 月	英語部学生との交流会（田町キャンパス）
6 月	校友会全国総会参加
9 月	親睦旅行（安藝）
10 月	箱根駅伝予選会応援
11 月	第 55 期 英交会支部総会（田町キャンパス）
12 月	忘年会（田町）
2 月	英語部 4 年生追い出しコンパ参加（渋谷）
その他	役員会 6 回、実学サロン 3 回、校友会幹事会

2019 年 11 月 30 日　第 55 期 英交会支部総会

2019 年 9 月 14 日～ 15 日　英交会安藝旅行

黒潮会支部

支部長　岡野 浩一　建築学科　昭和58年卒業

空手道部 OB 会黒潮会は平成 13 年 12 月に校友会支部臨時総会を開催し、平成 14 年度黒潮会支部としてスタートしてから今年で 19 年目を迎えます。

昨年 11 月 30 日、校友会副会長の加藤善次郎様ご臨席のもと総会を開催いたしました。昨年 1 月に藤本貞治師範がご逝去されたことに伴い、師範として S45 年卒の山田繁樹先輩、監督は H26 卒の石田博貴先輩が就任されました。また、福田事務局長を筆頭に村田事務局次長、吉川広報委員長、五條広報委員と新たな役職を設け事務局体制を充実しました。

総会終了後、芝浦キャンパス 3 階 305 教室にて新役員発表会並びに卒業生送別会を開催し、多くの OB 諸先輩、部員、留学生とともに懇親を図りました。

黒潮会支部として相互交流を図り一人でも多くの OB が集まる支部になるよう努力します。今後、尚一層の活動の場を広げ、校友会支部として校友会並びに母校の発展に寄与していきたいと望む次第です。

二部ワンダーフォーゲル部OB会　支部長　伊藤 孝夫　二部機械工学科　昭和51年卒業

二部ワンダーフォーゲル部 OB 会支部は昭和 36 年創立と古いですが、平成 23 年に校友会に参加、承認され、昨年の支部総会にて、支部旗を受け取ることが出来ました。

昨年の支部活動では、5 月に定期総会を行い、決算報告や、活動報告を行い、採決を行いました。また、今年度の活動計画、予算案を話し合いました。

会員への連絡に使われていたメーリングリストが使えなくなり、替わるものについて定例会で話し合いが行われました。定例会も昨年より多く行おうと今年度は 9 月、11 月、12 月と 3 回行うことが出来ました。

10 月にはキャンプ合宿を計画したのですが、台風の影響により、キャンプ場が使用出来なくなり、中止となりました。次年度はより多くの定例会の開催と、キャンプ合宿を行いたいと思います。

今後も OB 会活動に一人でも多くの会員が参加できるように努力していきたいと思います。

H31 年度二部ワンダーフォーゲル部 OB 会支部総会

錬心会支部　支部長　飯島 敏春　機械工学科　昭和54年卒業

芝浦工業大学剣道部は創部 60 周年となりました。令和元年 11 月 23 日には 60 周年記念と、30 年と長きにわたりご指導いただいた伊藤師範の感謝の会を開催しました。村上学長と鈴見校友会会長をはじめ、多くの来賓と、全国より OB・OG・学生が 120 名以上集まり盛大な式典となりました。

剣道は年齢を問わず行える武道です。年に 3 回及び、春夏の合宿においては、OB と学生が共に汗を流しております

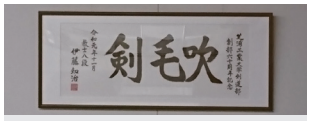
今後は新たに安達師範を迎え OB 共々学生の支援と指導を行いたいと考えております

---

50 周年 60 周年を記念して歴代師範に揮毫いただいた手拭いの書は、学長室に飾っていただいております。

佐藤名誉師範書写真
「錬気養心」

伊藤名誉師範書
「吹毛剣」



芝浦技術士会支部

支部長　鯨井 武　通信工学科　昭和54年卒業

芝浦技術士会は、会員数 258 名を擁し、公益社団法人日本技術士会と連携する大学の技術士会組織です。私たちの主な活動は、芝浦工業大学 公開講座として開講している「技術士試験対策講座」と、技術士の CPD 講座を兼ねた「技術士フォーラム」の開催です。

「技術士試験対策講座」では、受験者を支援すると同時に、講師と受講生のコミュニケーションを通じて生涯現役技術者への道を共に考えおります。また、これまでの経験をもとにしたリカレント教育の機会と捉えています。

「技術士フォーラム」では、学内の先生方、並びに学外の技術士や専門家による先端技術、研究の御講演を頂き、知識の拡充に努めております。

昨年度から㈱エスアイテックと連携し、地域企業、校友会会員企業様への支援活動も行える体制を進めており、開かれた支部を目指していますので宜しくお願い申し上げます。

硬式野球部ＯＢ会支部

支部長　前野 和博　工業経営学科　昭和46年卒業

2019 年硬式野球部 OB 会支部総会は、11 月 16 日（土）14 時より豊洲キャンパス教室にて、24 名の OB 会会員の出席のもと開催致しました。支部長の挨拶から始まり、会計報告・監査報告・予算・活動報告等々の審議を行い無事終了する事ができました。資料作成･事前準備･進行等々にご協力頂いた関係者の皆様には大変感謝申し上げます。また、来賓として大学及び校友会から加藤善次郎理事（校友会副会長）のご出席を頂きご挨拶を頂戴致しました。

総会終了後には、同じ豊洲キャンパス交流棟 2 階食堂において懇親会を開き、その場に現役選手約 30 名を招き激励も会わせて行いました。現役選手参加の目的は、①硬式野球部 OB 会と言う活動組織を認識してもらう事。② OB 会員となったら OB 会総会等（ゴルフコンペでもよし）に参加し、同級会及び学年を越えた交流を計ってもらう事。③ OB 会の活動目的を理解しながら OB 会会費納入を継続してもらう事にあります。OB 会活動の活性化により、現役選手へ消耗品であるバット・ボール等の寄贈が可能となり選手個人の負担が軽減されます。そうする事により現役選手と OB 会との繋がりも密になると思います。

今年も多くの新入生が入部してくれる事を望み、硬式野球部の更なる活躍を期待します。また、本年末に開催される硬式野球部 OB 会支部総会が盛大に盛り上がりながら開催される事を祈念したいと思います。

ハンドボール部OB会支部

支部長　井出 恵尉　工業経営学科　昭和47年卒業

2014 年 6 月に発足し、現在の会員数は 172 名です。

毎年秋に OB 総会を開き親睦を深めています。2019 年度は、11 月 2 日（土）に芝浦校舎の校友倶楽部にて開催し、OB 参加者 22 名に現役部員 28 名も参加して和やかな雰囲気で行われました。積極的に現役との交流を深めています。

今年度の総会では、初めて平成 10 年前後卒の OB にも参加いただき、徐々に OB の親睦も深まってきています。今年で 5 年目ですが、まだ連絡の取れていない年代もあります。今後も各年代に参加いただけるよう努めていきたいと思います。

その他、現役の試合の応援や合宿での指導・助言、および合宿費の援助など、現役部員が有意義な部活動をおくれるように支援をしています。

支部長	井出　恵尉	（S47 年卒）
副支部長	大村　俊樹	（S56 年卒）
幹事（監督）	池田　鉄哉	（S40 年卒）
会計	川合　誠	（S60 年卒）
事務局	河村　登	（S60 年卒）
	本多　行雄	（H2 年卒）
会計監査	大森　雅樹	（S59 年卒）

ソフトテニス部ＯＢ会支部

支部長　早川 昇　建築学科　昭和43年卒業

ソフトテニス部 OB 会支部は、平成 26 年 6 月に発足しました。母体の OB 会は創立 54 年を迎え、会員数は 241 名になりました。年齢層は、20 歳代から 80 歳代と多岐にわたります。会員からは、全日本選手権優勝者、準優勝者を輩出しています。

私共支部が設立の主旨としたのが、校友会の発展に寄与すると共に OB 会時代より続く、現役学生諸君への助言および援助であります。これは 50 余年間微力ながら継続して参りました。内容は、監督やコーチの派遣と、その経費の一部補助、遠征費等の補助であります。

例年総会はテニスを楽しむ事が含まれ、共に OB 選手権も開催しており、本年も学生部員との交流を目指し、会員にも懐かしい大宮キャンパスで開催されます。

ご協力を頂いた大学、校友会関係者の方々に厚くお礼申し上げる次第であります。

今後も、学生諸君への援助も含め校友会発展に、どのように寄与できるかを模索してゆく所存でございます。

第 54 回芝浦工業大学ソフトテニス部 OB 会支部総会
令和元年 8 月 25 日　於：芝浦工業大学大宮キャンパス

スキー部OB会支部

支部長　小川 博司　工業経営学科　昭和45年卒業

スキー部 OB 会支部は毎年 7 月の第二土曜日に総会を開催しております。昨年も大学の故五十嵐理事長、野口常務理事、鈴見校友会会長（現理事長）をお迎えし、総勢 23 名で総会が開催されました。

スキー部 OB 会支部は 7 年前より、前支部長の樋口智美氏（建築 38 年卒）が中心となり、昔インカレで競い合った各大学の OB と年に一度集おうと始め、当初は芝浦、早大、明治の三大学でしたが、昨年の第 7 回では実に 16 大学、66 名の参加となり、盛大になりました。

我が、スキー部 OB 会支部の自慢は、大学の校友会組織の一員としての OB 会であると言うことです。（他の大学は任意団体であります。）

今後もこの事に誇りを持って芝浦工業大学の PR になればと思っております。

最後に皆様今年度もよろしくお願いいたします。

2019（令和 1）年 7 月 13 日（土）芝浦工業大学校友会スキー部 OB 会支部　総会・懇親会

熱流体研究会支部

支部長　富山 博明　機械工学科　昭和57年卒業

熱流体力学研究会支部は、岡本史紀先生の流体力学研究室と角田和巳先生のエネルギー変換工学研究室の 600 名を超える卒業生で構成される支部で、2017 年に設立され今年で 4 年目を迎えます。

熱流体力学研究会支部では、岡本史紀先生が当時主催していた企業の先端技術を紹介する“熱流体フォーラム”を踏襲して、“先端技術フォーラム”として年に 1 回開催し、卒業生による会社紹介、技術紹介、製品紹介などしております。卒業生同士の交流だけではなく、ビジネスマッチングの場となる様に、色々なイベントを企画しております。また角田研究室の現役学生を支援し、学生と卒業生企業のマッチングや、企業見学の機会なども提供し、人材育成への貢献を目指した活動も行っております。

今後は卒業生同士の更なる交流を深めるために、地区や企業毎の分科会も設立していき、大学や校友会の更なる発展に少しでも貢献できればと思っております。

平成 31 年熱流体研究会支部総会

サッカー部OB会支部

支部長　福井 武和　機械工学科　平成21年卒業　機械工学専攻　平成23年修了

私たちサッカー部 OB 会支部は 2019 年 12 月に発足しました。支部承認される前の 2014 年から OB 会として活動をしています。メンバーは 20 代を中心として 30 代までです。ほとんどが 20 代の若いメンバーのため、年に 1 度は大宮キャンパスのグラウンドに集まり、現役学生と試合を行っています。このように、現役学生と同じピッチに立ちサッカーができる距離感が、体力的にはギリギリの今の私たち OB 会の強みであると考えています。

また、現役学生とは部活動以外でも積極的に交流を図っています。サッカー部監督による、現役学生の希望就職先に勤める OB との仲介で、直接的な進路相談等も行っています。

今後も現役学生との交流をますます深め、校友会の発展はもとより、芝浦工業大学の発展の一端となれますよう活動していく所存です。

川崎市役所支部

支部長　長谷川 智巳　電気工学科　昭和59年卒業

川崎市役所支部は、役所内の芝浦工業大学卒業生で構成される校友会職域支部です。現在約 30 名の会員で活動をしております。

昨年 8 月には支部総会を開催し、芝浦工業大学からは山田理事、校友会から加藤副会長、また神奈川県支部より長井支部長にご出席いただき、盛会に開催することができました。

近年、20 代～ 30 代が中心となり、職場を超えて交流も増え初めて活気のある懇談会を行っております。お互いの交流を踏まえて、普段、仕事では直接話さない先輩職員との人間関係の構築を含め、仕事へのアドバイスや、学生時代の部活・サークル活動と話が盛り上がっております。

また、新会員の勧誘を目的に始めた新年会では、お互いの近況や情報交換などを行い、支部内の結束を強めており、今後も更なる会員の交流と親睦を図っていきたいと考えております。

最後に、芝浦工業大学の益々のご発展と、校友会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

令和元年度芝浦工業大学校友会川崎市役所支部総会
令和元年 8 月 23 日　川崎割烹大沼

鹿芝会支部

支部長　増田 孝弘　建築工学科　昭和63年卒業

鹿芝会は鹿島建設及びグループ会社の芝浦工業大学卒業生で構成する、校友会職域支部です。会員数は 2020 年 4 月現在で約 140 名となっており、例年 5 名前後の新入社員を新規会員に迎え、役員クラスから新入社員まで幅広い年齢層で活動をしています。

主な活動内容は、各種芝浦工業大学校友会活動への参加、年に 1 度の支部総会、学生へのリクルート支援が大きな行事となっています。昨年の支部総会には故五十嵐理事長にもご参加いただき、鹿島建設在席時代の貴重な話などを伺うことが出来ました。豊洲の新校舎の着工式でも普段とお変わりないお元気なお姿でご挨拶をされていましたので、急な訃報を受け驚いております。鹿芝会会員一同、心よりご冥福をお祈り申し上げます。諸先輩方が大事にされてきた鹿芝会を、今後も盛り上げて行きたいと思っております。

最後に、芝浦工業大学のますますのご発展と、校友会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

鹿芝会総会　芝浦キャンパス校友倶楽部にて

住芝会支部

支部長　鈴木 一巳　電気工学科　平成元年卒業

住芝会は平成 14 年 1 月に発足し、今年で 19 年目となる職域支部です。住芝会の活動としては年に一度の定期支部総会及び懇親会を行なっております。

昨年 9 月 4 日（水）に定期支部総会及び懇親会を、無事開催することができました。学校側から山田理事、校友会から加藤副会長・本間副会長、野末様にご出席いただき、大学の現状や校友会活動の報告等のとても有意義なお話を聞かせていただきました。

会員は現場従事者が多く、一堂に会することが少ないため、支部総会はとても貴重な場でもあります。また少しずつではありますが新卒の新会員も増え、若い力と共に頑張っております。

住芝会は決して大きな組織ではありませんが、今後も積極的且つ継続的に校友会活動に参加してまいる所存です。皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い致します。

最後になりましたが、母校芝浦工業大学の益々のご発展と、校友会皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

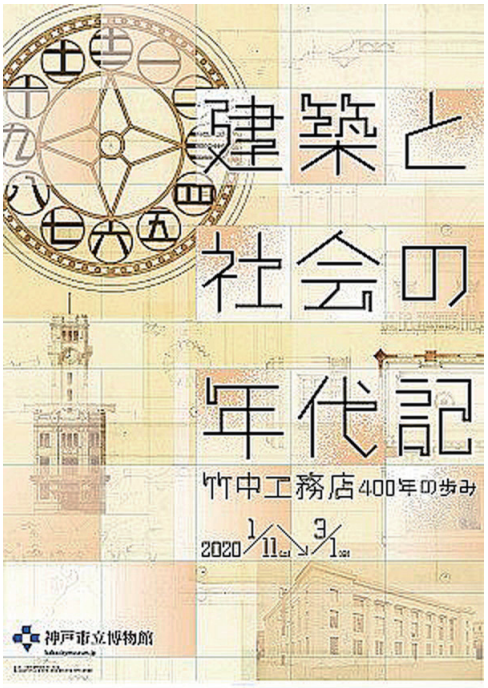
竹中芝浦会支部

支部長　安岡 千尋　建築工学科　昭和57年卒業

竹中芝浦会支部は、竹中工務店と傍系会社の芝浦工大卒業生、退社の OB・OG で構成する支部です。人数は現役約 150 名、OB・OG 約 115 名です。

竹中は 1899 年神戸に創立し、創業は 400 年以上前、織田信長の普請奉行にまで遡ります。一方、支部の歴史は浅く、発足からまだ 17 年です。発足から毎年開催の支部総会ですが、今年度は残念ながら新型コロナウィルスの影響で延期となってしまいました。いつも支部総会を紹介してきましたが、今回は神戸市立博物館の特別展「竹中工務店 400 年の歩み」と竹中大工道具館を紹介させて頂きます。

特別展は、竹中が手がけた建築を、建築と人間の関わり方という視点から建築の魅力を感じる展示会でした。特別展は終了しましたが、同じ神戸にある竹中大工道具館は、品質のよいものほど摩耗するまで使い込まれる厳しい宿命をもつ消えゆく大工道具が収集･保存してあり、実際に触れて観てと親子で楽しめる内容です。



フジタ芝浦会支部

支部長　重冨 正昭　建築学科　昭和61年卒業

このたび、フジタ芝浦会支部の支部長に選任されました重冨正昭と申します。よろしくお願いいたします。今年度は 7 名の新入社員を迎え入れ、全国で 99 名の支部会員で活動をしてまいります。

例年 4 月の初旬に、新宿にて支部総会を兼ねた新入社員歓迎会を開催しています。残念ながら、コロナウイルス感染拡大に伴う「緊急事態宣言」が発令されていることもあり､今年は開催を断念せざるを得ませんでした。一度も顔を合わせることなく、全国の支店に配属されていく新入社員のことを思うと可哀想でなりませんが、また数年後に成長した姿で戻ってくることを楽しみにしています。

このような状況はしばらく続くと思いますが、支部会員とは出来る限りの手段でコミュケーションを図り活動を続けてまいります。

（コロナウイルスの感染予防で支部総会は未開催・昨年度の総会写真を掲載します）

前田芝浦会支部

支部長　黒岩 貴志　土木工学科　昭和60年卒業

前田芝浦会は、前田建設工業株式会社・同関連会社に所属する芝浦卒業生で構成され、2018 年末に支部登録された職域支部です。会員数は、現在 80 名で顧問クラスから新入社員まで幅広い年齢層で構成されています。

昨年 6 月 14 日（金）に、大学から山田理事様、校友会から林田副会長様にご臨席いただき、初の支部総会を芝浦キャンパスにて開催しました。社内で初めて全芝浦 OB・OG に声掛けする機会でしたが、平日ながら 30 人超の参加者にて大変盛況な会となりました。参加者からは、特に在学当時から大きく変わった母校を実感すると共に、年代・職種を超えた新たな同窓の交流の場ができたことを歓迎する声が多数ありました。

今年は 6 月 26 日（金）に第 2 回支部総会および親睦会を芝浦キャンパスにて開催予定です。

今後も芝浦卒業生のつながりを生かして支部活動の活性化を図っていく所存ですので、引き続きよろしくお願い致します。

“支部旗”全国にひるがえる

芝浦工業大学校友会は本年で設立 94 周年を迎えます。

校友会は、地域支部・海外支部・同好会支部・職域支部を合せると全国で 94 の支部数になり、卒業生は国内外のあらゆる地域、会社などで活躍しています。

平成30年全国総会で揚げた支部旗

支部旗

支部旗は、我ら同窓生の旗じるしであり、永遠に芝浦工業大学の卒業生としての誇りであります。

支部総会を連続 4 回開催し、各回 10 名以上の参加者があり、継続して開催されている支部に授与されます。

これから授与される支部のご健闘を祈ります。

校友会「会員名簿」について

校友会では、2017 年 3 月に校友会会員名簿を刊行し販売しております。2016 年 3 月時点での卒業生、約 50,000 名が掲載されております。 お仕事や同好活動など会員同士の連絡にお使いください。

●名簿の内容について

この名簿は卒年、学科単位だけではなく、各県別、郵便番号順に編集したものです。このため各市町村にどのような会員（卒業生）がおられるか把握でき、地域での会員の繋がりと利用し易さを目指し編集されたものです。

なお、制作に当たっては個人情報保護法を遵守することは当然ですが、その精神を尊重するとともに、大学とも十分協議し、制作したものであることを付け加えさせていただきます。

●ご購入方法について

芝浦工業大学卒業生に限り、お一人様一冊のみご購入いただけます。氏名、卒年、学科、送付先住所および「名簿購入」と明記の上、代金 5,000 円（送料込）をご送金ください。ご入金確認次第発送いたします。

《御振込先》 郵便局　加入者名　：　芝浦工業大学校友会
　　口座番号　：　00160-5-9575

◀ 5,000 円
（送料込）

芝浦工業大学校歌 CD の販売

「曲目」
1．芝浦工業大学校歌
2．応援歌
3．校歌演奏
　指揮：金　洪才
　独唱：望月哲也
　演奏：新日本フルハーモニー交響楽団
「校歌」
　作詞：北原白秋
　作曲：山田耕作

● CD に関するお問い合わせ先

【芝浦工業大学校友会】
〒 108-8548
東京都港区芝浦 3-9-14　芝浦工業大学内
TEL：03-5445-9634　FAX：03-5445-9635
e-mail：sitfriends@shibaura-koyu.jp

●振込先

郵便局：加入者名：芝浦工業大学校友会
口座番号：00160-5-9575

●代金

定価：2,000 円

校友会　常任幹事会　名簿

（役員を除く）　令和元年６月８日　現在

常任幹事
中村　宏
土木工学科　昭和37年

常任幹事
橘　昱弘
建築学科　昭和46年

常任幹事
川本　勝一
建築学科　昭和49年

常任幹事・組織委員会
大丸　征史
電子工学科　昭和39年

常任幹事・組織委員会
前野　和博
工業経営学科　昭和46年

常任幹事・例規委員会・
財務委員会
神野　兼次
建築工学科　昭和49年

常任幹事・組織委員会
金井　昭三
機械工学第二学科　昭和41年

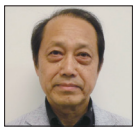
常任幹事・
在校生就職支援委員会
赤井　和憲
土木工学科　昭和47年

常任幹事・
在校生就職支援委員会
小貫　諭
工業化学科　昭和50年

常任幹事・財務委員会
淺野　昌宏
電子工学科　昭和44年

常任幹事・特別委員会
井出　恵尉
工業経営学科　昭和47年

常任幹事・例規委員会
鈴木　卓
金属工学科　昭和50年



常任幹事・組織委員会
小野瀬　等
通信工学科　昭和45年

常任幹事・組織委員会
長井　義明
建築学科　昭和47年

常任幹事・事業委員会
森本　静
工業経営学科　昭和50年

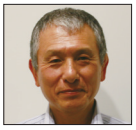
常任幹事・総務・広報委員会
小平　和一朗
電子工学科　昭和45年

常任幹事
住友　正樹
建築学科　昭和47年

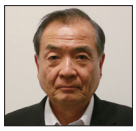
常任幹事・特別委員会
浅見　勝
建築学科　昭和51年

常任幹事・組織委員会
橋本　雅夫
建築学科　昭和45年

常任幹事・財務委員会
森川　理
電子工学科　昭和47年



常任幹事・例規委員会
早川　金光
建築学科　昭和51年



常任幹事・組織委員会
谷川　潮
機械工学第二学科　昭和45年

常任幹事・例規委員会
赤坂　邦雄
機械工学科　昭和48年

常任幹事・校友会事務局長
依田　幸秀
金属工学科　昭和51年

常任幹事・事業委員会
植松　恵一
通信工学科　昭和46年

常任幹事・総務・広報委員会
佐野　茂彰
機械工学科　昭和48年

常任幹事
渡邊　淳悦
建築学科　昭和51年

常任幹事・組織委員会
内田　武男
土木工学科　昭和46年

常任幹事・事業委員会
髙木　光一
機械工学科　昭和48年

常任幹事・組織委員会
関根　良
電気工学科　昭和52年

常任幹事・特別委員会
枝広　英俊
建築学科　昭和46年

常任幹事
高野　義昭
土木工学科　昭和48年

常任幹事・組織委員会
犬塚　祥二
建築工学科　昭和54年

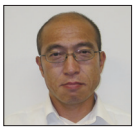
常任幹事・特別委員会・
在校生就職支援委員会
角野　和明
建築学科　昭和46年

常任幹事・事業委員会
斎藤　教男
建築学科　昭和49年

常任幹事・例規委員会・
在校生就職支援委員会
鯨井　武
通信工学科　昭和54年

常任幹事・財務委員会
安齋　正博
機械工学第二学科　昭和55年

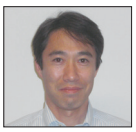
常任幹事・特別委員会
佐々木　克則
電気工学科　昭和60年



常任幹事・特別委員会
福田　栄寿
機械工学第二学科　平成1年

常任幹事・事業委員会
田村　稔
建築学科　昭和55年

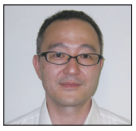
常任幹事・例規委員会
百瀬　和浩
建築工学科　昭和60年



常任幹事・財務委員会
苅谷　義治
金属工学科　平成2年

常任幹事・総務・広報委員会
中根　眞行
工業経営学科　昭和55年

常任幹事・組織委員会
渡辺　通宏
二部機械工学科　昭和60年



常任幹事・例規委員会
鈴木　洋
通信工学科　平成2年

常任幹事・財務委員会
文倉　辰夫
電気工学科　昭和55年

常任幹事・特別委員会
山田　サトシ
建築学科　昭和61年

常任幹事・事業委員会
小宮山　由起江
電気工学科　平成2年

常任幹事・特別委員会
筋野　豊司
機械工学第二学科　昭和56年

常任幹事・
在校生就職支援委員会
内山　毅
金属工学科　昭和62年

常任幹事・例規委員会
武藤　憲司
通信工学科　平成3年

常任幹事・事業委員会
平井　良樹
工業経営学科　昭和57年

常任幹事・総務・広報委員会
佐藤　勝
二部機械工学科　昭和62年

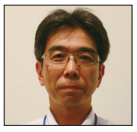
常任幹事・例規委員会
齋藤　敦史
通信工学科　平成4年

常任幹事・組織委員会・
在校生就職支援委員会
山口　幸治
建築工学科　昭和57年

常任幹事・総務・広報委員会
藤田　利行
電気工学科　昭和62年

特別委員会
長谷川　浩志
機械工学第二学科　平成4年

常任幹事・財務委員会
作山　康
建築工学科　昭和58年



常任幹事・例規委員会
岩本　毅
建築工学科　昭和63年

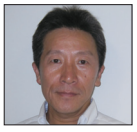
常任幹事・例規委員会
安田　俊司
機械工学第二学科　平成4年

常任幹事・組織委員会・
在校生就職支援委員会
野口　忍
工業経営学科　昭和58年

常任幹事・総務・広報委員会・
在校生就職支援委員会
大森　隆広
建築工学科　昭和63年

常任幹事・例規委員会
山口　正樹
電子工学科　平成5年

常任幹事・事業委員会
柴田　真利
工業化学学科　昭和59年



常任幹事・事業委員会
鶴　浩一郎
建築学科　昭和63年

常任幹事・財務委員会
野城　正人
工業経営学科　平成5年

常任幹事・財務委員会・
在校生就職支援委員会
角田　隆二
土木工学科　昭和59年

常任幹事・事業委員会
村島　充裕
建築学科　昭和63年

常任幹事・特別委員会
新井　剛
金属工学科　平成7年

財務委員会
本村　雅洋
機械工学科　昭和59年

常任幹事・総務・広報委員会
安藤　吉伸
機械工学科　平成1年

常任幹事
安藤　毅
建築学科　平成7年

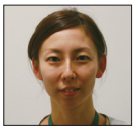
常任幹事・事業委員会
市川　拓
機械工学第二学科　平成8年

常任幹事・事業委員会
野元　明俊
二部電気工学科　平成12年

常任幹事・事業委員会・
在校生就職支援委員会
田口　智大
建築工学科　平成16年

常任幹事・組織委員会
坂地　世紀
建築学科　平成8年

常任幹事・総務・広報委員会
今井　理裕
材料工学専攻　平成14年



常任幹事・総務・広報委員会
畠山　佳代
環境システム学科　平成17年

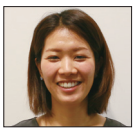
常任幹事・組織委員会
板垣　真人
建築工学科　平成9年

常任幹事・財務委員会・
在校生就職支援委員会
中島　毅
材料工学科　平成14年

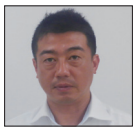
常任幹事・事業委員会・
在校生就職支援委員会
西河　洋一
MOT　平成21年

常任幹事・事業委員会
福井　浩二
工業化学科　平成10年

常任幹事・事業委員会
奥田　耕一郎
環境システム学科　平成15年



常任幹事・総務・広報委員会
川野　亜希
応用化学科　平成23年



財務委員会
望月　秀晃
土木工学科　平成11年

常任幹事・事業委員会
小坂　哲平
土木工学科　平成15年

常任幹事・事業委員会
福井　幸博
地域環境システム専攻
平成23年

常任幹事・総務・広報委員会
中川　雅史
土木工学科　平成12年

常任幹事・総務・広報委員会
滝下　勇
二部電気設備学科　平成16年

特別委員会
増田　純一
材料工学科　平成28年

校友会　相談役・顧問　名簿

令和元年６月８日　現在

顧問
岡本　嘉行
建築学科　昭和34年

顧問・組織委員
岡本　泰明
機械工学科　昭和41年

顧問・組織委員
渡辺　碩
建築学科　昭和45年

顧問・組織委員
滝澤　厚征
建築学科　昭和39年

顧問・組織委員
雲然　國幸
機械工学第二学科　昭和41年

顧問・総務・広報委員会
泉澤　定雄
建築学科　昭和46年

顧問・組織委員
田口　継道
建築学科　昭和39年

顧問・事業委員
吉野　巖
機械工学科　昭和43年

相談役・組織委員
郡司　卓臣
機械工学科　昭和43年

顧問・例規委員
今村　均
機械工学科　昭和40年

顧問・組織委員
岩本　行雄
工業化学　昭和44年

校友会　支部及び支部長紹介

令和２年６月13日現在

支部名	支部長	
	氏名	卒年・学科
北海道	米澤　稔	44・建築学科
青森	木村喜有	44・土木工学科
岩手	遠藤龍一	50・建築工学科
秋田	池田広志	55・建築工学科
宮城	杉崎年英	48・土木工学科
山形	川越　進	46・土木工学科
福島	樋口正人	53・電気工学科
栃木	池田　猛	48・土木工学科
茨城	増山　栄	47・建築学科
群馬	青木豊治	57・機械工学
埼玉	吉池富士夫	51・金属工学科
千葉県	金井昭三	41・機械工学第二学科
東京総支部	谷川　潮	45・機械工学第二学科
多摩	中根眞行	55・工業経営学科
神奈川	長井義明	47・建築学科
新潟	臼井静男	48・土木工学科
長野	北村武彦	45・建築学科
山梨	渡辺一郎	46・建築工学科
富山	福井幸博	H23・地域環境システム専攻
石川	多田哲則	54・建築学科
福井	永井弘明	53・建築学科
岐阜	平井良樹	57・工業経営学科
静岡県同窓会	鈴木和幸	50・土木工学科
愛知	榊原周造	45・建築工学科
三重	谷水佐久也	50・電子工学科
関西	松岡英治	54・建築学科
鳥取	富本哲郎	40・電気工学科
岡山	沖本光昭	45・通信工学科
島根	浅野正教	45・建築学科
広島	川本勝一	49・建築学科
山口	福田隆行	50・土木工学科
香川	田岡哲也	57・金属工学科
徳島	佐藤幸好	50・建築工科
愛媛	児山　均	49・機械工学第二学科
高知	依光成元	56・建築工学科
大分	平井寛行	52・通信工学科
福岡	角　敬之	45・工業化学科
宮崎	長池正恕	50・電子工学科
熊本	永田昂生	42・土木工学科
佐賀	山田清人	48・通信工学科
長崎	藤本博文	61・工業化学科
鹿児島	小薗定夫	48・建築工学科
沖縄	仲西　聰	56・土木工学科
韓国	金　範得	19・土木工学科
台湾	江　文雄	61・機械工学第二学科
タイ王国	野本利迪	H2・建築工学科

支部名	支部長	
	氏名	卒年・学科
上海	芝田明久	H4・建築工学科
シンガポール	長尾　剛	61・建築工学科
MOT同窓会	西河洋一	H21・工学マネジメント専攻
機械工学科同窓会	髙木光一	48・機械工学科
よろく会	小寺貴士	46・通信工学科
緑会	井家良明	35・建築学科
英交会	淺野昌宏	44・電子工学科
黒潮会	岡野浩一	58・建築学科
ニ部ワンダーフォーゲル部OB会	伊藤孝夫	51・機械工学科
錬心会	飯島敏春	54・機械工学科
柔道部OB会	早川金光	51・建築学科
ギター部OB会	神野兼次	49・建築工科
芝浦技術士会	鯨井　武	56・電気工学専攻
硬式野球部OB会	前野和博	46・工業経営学科
TBT(鳥人間)OB・OG同好会	安保知佳	H27・通信工学科
ハンドボール部OB会	井出恵尉	47・工業経営学科
ソフトテニス部OB会	早川　昇	44・建築学科
ヨット部OB会	柴田真利	59・工業化学科
スキー部OB会	小川博司	45・工業経営学科
熱流体力学研究会	富山博明	57・機械工学科
ラグビー部OB会	山田豊人	54・電気工学科
サッカー部OB会	福井武和	H23・機械修
弓道部OB会	森田和雄	47 機械工学科第二学科
奥村組芝浦会	坂地世紀	H8・建築学科
神奈川県庁	宮本信也	59・土木工学科
川崎市役所	長谷川智巳	59・電気工学科
関電工芝浦会	井口昌之	62・土木工学科
京三	岩倉哲史	58・通信工学科
熊谷組芝浦会	宮澤　守	H3・建築学科
五洋建設芝浦会	柳沢純一	62・建築工学科
三芝会	岩本　毅	63・建築工学科
鹿芝会	増田孝弘	63・建築工学科
清水建設芝浦会	鈴木　暁	H9・建設工学専攻
住芝会	鈴木一巳	H1・電気工学科
大成芝浦会	石久保　猛	H7・建築学科
ダイダン	関口秀行	63・建築工学科
大日本土木	長谷川勝己	56・土木工学科
高砂熱学工業	竹内祥貴	55・電気工学科
竹中芝浦会	髙野直人	62・建築学科
戸田建設芝浦会	古越　仁	55・電気工学科
日比谷芝浦会	岡本正仁	45・建築学科
フジタ芝浦会	重冨正昭	61・建築学科
芝友会	中村信夫	43・電気工学科
不動産建設芝浦会	清水修司	44・建築学科
前田芝浦会	黒岩貴志	60・土木工学科

校友倶楽部 利用のお願い

校友倶楽部は、同窓会・女子会等で利用可能な校友の為の施設です。
お電話・メールで空き状況を確認して頂き、大いに活用して下さい。

ブラッククラウンジ

ホワイトラウンジ

◆ 利用に関して ◆

- 芝浦工業大学卒業生であること前提です。
- 料　金　　飲み放題付き 4,000円から（料理の内容など応相談） 室料一室共に10,000円
- 人　数　　各20名程度（ホワイト・ブラック両方利用で立食形式の場合最大80名まで可能）
- 時　間　　14時～17時　17時～21時（飲酒を伴う利用は17時以降）20時30分オーダーストップ。利用は平日のみ。土曜日は要相談で日・祝日定休日。一団体2時間制。

皆様のお越しを
お待ちしております!!

小野瀬支配人（中）とアシスタントの富田さん（右）川嶋さん（左）

空き状況の確認・ご予約はこちらまで

芝浦工業大学校友会 校友倶楽部
支配人 小野瀬　等
(TEL) 03-5445-9646　(FAX) 03-5445-9635
(E-mail) h-onose@shibaura-koyu.jp

卒業生の皆様へ

資格取得講座の御案内

芝浦工業大学校友会では、日建学院と提携し資格取得講座への紹介を行っております。校友会を通して申し込むと、通常学費より安く受講できますので、スキルアップやキャリアアップに是非お役立て下さい。

受講できる講座は日建学院が提供している講座6種です。これはWEB講座でインターネットを使用した動画による講義（個別コース）と通学による講義（通学コース）です。講義の内容はこの講座用に企画し、吟味されているものですので講師による不得手などが排除されており、効率的な学習により効果が期待できます。また、WEB講義は、通学が難しい地方や海外勤務の方でも受講可能です。（※事前に体験版で動作確認下さい）

☐ 提供する講座

		【一般学費】		【校友会特別学費】
■ 1 級建築士学科（Web）講座（個別コース）	＝	300,000円	➡	150,000 円
■ 2 級建築士学科（Web）講座（個別コース）	＝	300,000円	➡	142,000 円
■ 宅地建物取引士（Web）講座（個別コース）	＝	100,000円	➡	80,000 円
■ 1級建築士学科 本科　講座（通学コース）	＝	650,000円	➡	590,000 円
■ 1級建築施工学科　講座（通学コース）	＝	250,000円	➡	209,000 円
■ BIM入門講座（Web）　講座	＝	10,000円	➡	6,000 円

※税別

☐ 講座内容

●講座内容は日建学院ホームページでも確認できます。
●日建学院ホームページ
https://www.ksknet.co.jp/nikken/index.aspx

☐ 申込方法

●校友会ホームページ上から必要事項を記入しお申込下さい。
校友会ホームページ　http://www.shibaura-koyu.jp/sk/
●校友会にお申込後4日程度で担当ご希望の日建学院から連絡がいきます。
●代金振り込み後、1週間でパスワードが通知されます。

■ご不明な点は校友会事務局にお問い合わせください

芝浦工業大学 校友会 事務局

〒108-8548　東京都港区芝浦3-9-14　芝浦工業大学内
TEL：(03) 5445-9634　FAX：(03) 5445-9635
E-mail：sitfriends@shibaura-koyu.jp

☐ 案内から申込まで

受講者
講座内容の確認・申込み
（校友会ホームページへアクセスして下さい）
↓
芝浦工業大学　校友会
受講希望者情報
（校友会より日建学院へ受講希望者を連絡します）
↓
日建学院
講座案内・手続き
（校友会に申込後、4日程度で担当ご希望の日建学院から連絡がいきます）
↓
受講者
申込・契約
（代金振り込み後、1週間でパスワードを連絡）
↓
日建学院
受講者報告
↓
芝浦工業大学　校友会

公開講座のお知らせ

芝浦工業大学では、本学の教育・研究成果を地域社会に還元し、
また学びの場を提供することを目的として、公開講座を実施しています。
卒業生の皆さまも、ぜひ現在の芝浦工大のキャンパスで学んでみませんか。

防災に関する講座、鉄道に関する講座、技術士試験対策講座
など、様々な分野の講座があります！ぜひご参加ください。

詳細はこちらから！

校友会本部事務局紹介

校友会会員の皆様へ

芝浦工業大学校友会事務局を代表してあいさつさせて頂きます。2019 年度は校友会会員各位の皆様方に多大なるご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

2019 年度は 2019 年 12 月に五十嵐前理事長がご逝去され、本年に入って 1 月から始まった新型コロナウィルスの蔓延ですべての行事が中止に追い込まれ、2 月には鈴見校友会会長の芝浦工業大学理事長に就任されました。

2020 年度は 3 年ごとに行われる校友会幹事、常任幹事の選考や役員の選挙などがあり、また卒業生評議員選考も実地されます。

今の事務局職員には初めて経験する事ばかりが続きます。事務局長としてもまだまだ不慣れで至らないところが多くございますが、校友会事務局職員一体となって、校友会会員皆様、各支部会員皆さまへのお力になれますように誠心、誠意、校友会の発展のための職務に尽力いたす覚悟でございます。

どうか今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事務局　依田　幸秀
宮坂　文枝
中瀬古幸子

依田事務局長（中央）、宮坂さん（左）、
中瀬古さん（右）

SHIBAURA ORIGINAL GOODS

● 生協でオリジナルグッズ販売中です！

芝浦工大の校章とスクールカラーの新緑をモチーフとしたオリジナルグッズが販売されています。
マグカップやクッキーなども増え、ラインナップも豊富です。

湯呑み　713円
マグカップ　820円

クリアフォルダ（大学名入り）　133円
クリアフォルダ（校歌入り）　133円

ボールペン　102円
シャープペン　102円

スカーフ　5,000円
ネクタイ　5,000円
（キーホルダー付き）

クッキー 9枚（箱入り）　700円
クッキー 19枚（缶入り）　1,400円

豊洲キャンパス生協、大宮キャンパス生協にて
販売しています。ぜひお買い求めください。
お問い合わせ先：03-5859-7900（豊洲キャンパス）
048-720-6600（大宮キャンパス）

（※いずれも税込み）

在校生就職支援ご協力のお願い

かねてより各支部から芝浦工業大学の学生が自社にほしいとのご要望を頂いておりました。それを受け、校友会執行部に「在校生就職支援委員会」を設置し就職支援活動を実施しております。芝浦工大は就職率が高い大学ですが、就職率 100%にはまだ至っておりません。全国卒業生の関連企業の皆様に、求人のご協力をお願い申し上げます。12 月以降の採用もご検討いただけるような、中小問わず企業の校友の皆様へご協力をお願い申し上げます。

1、校友会ホームページから「求人申込書」をダウンロード、記入
2、校友会事務局へ提出
3、校友会事務局が大学の就職担当者へ提出
4、学生の希望があった場合、校友会事務局から企業担当者へ連絡
5、学生と企業で出願、選考
6、結果を校友会事務局へ連絡

即希望に添えるとは限りませんが、広く学生に PR をしたいと考えております。何卒ご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

求人申込書：　http://www.shibaura-koyu.jp/renraku/info.php?id=78
送　付　先：　〒108 － 8548　東京都港区芝浦 3 － 9 － 14　芝浦工業大学内
E - m a i l：　sitfriends@shibaura-koyu.jp
T e l　：　(03) 5445 － 9634　　F a x　：　(03) 5445 － 9635

編集者・協力者　一覧

順不同、敬称略

◆編集者

芝浦工業大学校友会　総務広報委員会

林田　和雄（昭和 52 年　建築学科卒）
小平和一朗（昭和 45 年　電子工学科卒）
佐野　茂彰（昭和 48 年　機械工学科卒）
中根　眞行（昭和 55 年　工業経営学科卒）
佐藤　勝　（昭和 62 年　二部機械工学科卒）
藤田　利行（昭和 62 年　電気工学科卒）
大森　隆広（昭和 63 年　建築工学科卒）
安藤　吉伸（平成 1 年　機械工学科卒）
中川　雅史（平成 12 年　土木工学科卒）
今井　理裕（平成 14 年　材料工学専攻卒）
滝下　勇　（平成 16 年　二部電気設備学科卒）
畠山　佳代（平成 17 年　環境システム学科卒）
川野　亜希（平成 23 年　応用化学科卒）
顧問　泉澤　定雄（昭和 46 年　建築学科卒）

校友会本部事務局

依田　幸秀（昭和 51 年　金属工学科卒）
宮坂　文枝
中瀬古幸子

いい仕事には、体温がある。

取締役会長 小川 達生
（昭和51年 通信卒）

株式会社 日新コンピュータシステム

〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3
TEL 03-5802-0321
FAX 03-5802-0322
URL https://www.nisin.co.jp/

緑化事業を通じて
就労支援を行っております

株式会社 アカネ

代表取締役 金子和平
（昭和44年 経営工学科卒）

http://akane-green.co.jp

地球環境を大切にする
株式会社 日本環境設計

代表取締役社長 加藤 善次郎
（昭和55年機械卒）

〒231-0028
横浜市中区翁町2−9 ファム横浜本社ビル5階
TEL（045）212−2757（代）
FAX（045）212−2758

空気調和・給排水・冷凍冷蔵
設備の設計・施工・保守

Fujinetsu

〒143-0023 東京都大田区山王2丁目5番9号
TEL 03-6429-3600
不二熱学工業株式会社

ファサードエンジニアリングのリーディングカンパニー

AGB 旭ビルウォール株式会社
URL.http://www.agb.co.jp

特別顧問
芝浦工業大学理事長 鈴見 健夫（S45 建築）

〒111-0036 東京都台東区松が谷 1-3-5 JPR 上野イーストビル 8 階
TEL.03-5806-3110 FAX.03-5806-9688

電気通信設備工事・電気工事のことならお任せ下さい

お客様の多様なご要望に対し
何事にも安全・迅速にお応えできる技術集団です

IZUMIコミュニケーションサービス株式会社
代表取締役 大橋 晃（昭和56年 通信工学科卒）

〒144-0052 東京都大田区蒲田一丁目7番10号IZUMIビル
TEL: 03-5714-0692 FAX: 03-5714-0696
URL http://www.y-jet.co.jp

NitteiLife
株式会社ニッテイライフ

不動産建設 芝浦会
代表取締役 佐藤 隆之
（H2 工業経営 卒）

本社 東京都新宿区新宿 6-28-7 新宿イーストコート 3 階
〒160−0022 TEL.03-4589-6911 FAX.03-4589-6312
目黒支店 東京都目黒区目黒 1-4-11 目黒 NT ビルディング 1 階
〒153−0063 TEL.03-6420-0081 FAX.03-6420-0085
高円寺支店 東京都杉並区高円寺南 4-26-16 芦野ビル 3 階
〒166−0003 TEL.03-6383-1771 FAX.03-6383-1882

SMBC
三井住友銀行
SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

豊かな環境をクリエイトする

総合電気設備工事
扶桑電機株式会社
代表取締役 鬼嶋 一司

本社 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-12-8
〒222-0033 ☎045-472-0201（代）
東京支店 東京都渋谷区本町 2-16-4 扶桑東京ビル
〒151-0071 ☎03-3376-1444（代）
http://www.fuso-denki.co.jp

We'll support your Life
釜井建設マネジメント株式会社
代表取締役
釜井 重一
（昭和55年建築学科卒）

〒321-0966 栃木県宇都宮市今泉4-16-23
電話:028-621-0015
携帯:090-4371-8891
E-Mail:shigekazu_kamai@yahoo.co.jp

夢工房 陽だまりの家
株式会社 岡野工務店
代表取締役 岡野浩一（S58建築卒）

こころで創る 豊かなまち 輝くみらい

株式会社 丸西組
代表取締役会長
西 正次（昭和49年卒業）

〒923-0811 石川県小松市白江町ト121-1
TEL.0761-22-6100 FAX.0761-22-6123

日建学院は、
芝浦工業大学卒業生を
応援します!!
校友会様との提携により、
講座を特別学費で提供して
います。詳しくは、
校友会HPでご確認下さい。

建築士・宅建士・各種施工管理技士
日建学院

日建学院コールセンター
0120-243-229
株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋2-50-1
受付／AM10:00〜PM5:00（土・日・祝日は除きます）

最適環境空間を最新の技術でお届け致します

光・水・空気の総合エンジニアリング
SEAMEC 三宝電機株式会社
Sanpo Electrical And Mechanical Engineering Corporation

各種電気・計装制御・空調衛生・クリーンルーム設備等
総合設備の企画・設計・施工・メンテナンス

東京都港区西新橋3-8-3 ランディック新橋ビル5F
TEL:03-5472-3311 FAX:03-5472-0085
http://www.seamec.co.jp

HOTEL East 21 TOKYO
オークラ ホテルズ & リゾーツ
ホテル イースト21東京
東京都江東区東陽 6-3-3
TEL.03-5683-5683（代表）

「冷間鍛造技術日本一」

Maruyoshi
丸嘉工業株式会社

経済産業省 戦略的基盤技術高度化支援事業 採択企業

代表取締役会長・社長 土田 英治

住所：岐阜県各務原市金属団地68番地
TEL：058-382-7171

丸嘉工業

業務用酒類食材卸
宮内庁御用達
享保2年(1717年)創業

株式会社 ぬ利彦

代表取締役　九代目 中澤彦七

東京都中央区京橋２丁目９番２号
電話（3535）5311（代表）

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED
日建設計

代表取締役社長 亀井忠夫

東京都千代田区飯田橋2-18-3　http://www.nikken.jp

飯田グループホールディングス

代表取締役社長 西河洋一

〒180-0013 東京都武蔵野市西久保一丁目2番11号
電話：0422-60-8888(代表) URL：https://www.ighd.co.jp

※1「'19住宅メーカーの競争力分析」(住宅産業研究所)の2018年度販売実績(分譲戸建住宅、注文住宅、マンションの合計)による
※2 分譲戸建住宅市場におけるシェア(2018年4月1日～2019年3月31日住宅産業研究所調べ)

㈱宮建築設計

代表取締役　宮本　博

昭和47年卒　建築学科
(校友会　徳島県支部顧問)

本　　社：徳島市福島 1-5-6　TEL:088-625-5505
東京本店：東京都中央区八丁堀 2-28-10　TEL:03-6280-3305
http://www.miyasekkei.com
E-mail:miyamoto@miyasekkei.com

一建設株式会社

代表取締役社長　堀口 忠美

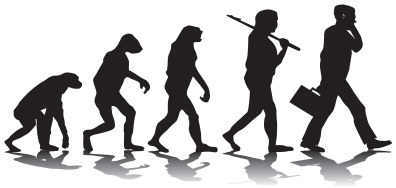
東京都豊島区南池袋2-25-5
TEL　03-5393-3071
URL　http://www.hajime-kensetsu.co.jp

株式会社 飯田産業

代表取締役社長　千葉 雄二郎

東京都武蔵野市境2-2-2
TEL　0422-36-8848
URL　http://www.iidasangyo.co.jp

変わり続けるDNA



株式会社 HEXEL Works

代表執行役社長　長江　洋一

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 / TEL:03-3459-3366 / URL:https://www.hexel.co.jp/

株式会社 東栄住宅

東栄の分譲住宅
Blooming Garden

代表取締役社長　佐藤 千尋

東京都西東京市芝久保町4-26-3
TEL　042-463-0220
URL　http://www.touei.co.jp

タクトホーム株式会社

代表取締役社長　小寺 一裕

東京都西東京市東伏見3-6-19
TEL　042-464-8788
URL　http://www.tacthome.co.jp

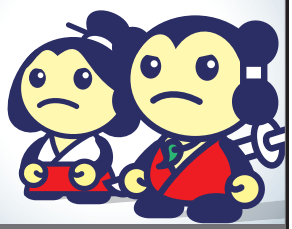
人を想い、場を創る。
okamura

株式会社オカムラ　日本橋支店

東京都中央区京橋 2-1-3
京橋トラストタワー 11 階
TEL:03-3246-2411 FAX:03-3246-2419

http://www.okamura.co.jp/

火の安心を、つくろう。
Wishing for Your Safety



ヤマトプロテック株式会社
東京都港区白金台5-17-2/tel.03-3446-7151

株式会社 アーネストワン

代表取締役社長　松林 重行

東京都西東京市北原町3-2-22
TEL　042-461-6288
URL　http://www.arnest1.co.jp

アイディホーム株式会社

代表取締役社長　久林 欣也

東京都新宿区高田馬場3-46-25
TEL　03-5337-6988
URL　http://www.idhome.co.jp

確かな技術と信頼の施工

株式会社
豊 蔵 組

会長 豊蔵 世紀

本社
〒920-0867
石川県金沢市長土塀3丁目13番8号
TEL(076)263-2231(代)
FAX(076)261-0464

和がまま家
わがまま設計 感動のオーダーメイドハウス
有限会社 太田工務店
http://www.ohta-koumuten.com
〒703-8243 岡山市中区清水2丁目8-58-3
TEL (086) 273−2347
FAX (086) 273−2194

電気設備の設計から施工まで
創業大正12年(1923年)

三興電気株式会社
代表取締役 大和 啓一
東京都中央区銀座7−13−5
電話 03−3547−5980

時代にまっすぐ、技術にまじめです。
HIBIYA
日比谷総合設備株式会社
東京都港区三田3-5-27
〒108-6312 TEL:03-3454-1385
http://www.hibiya-eng.co.jp/

KOKUYO
ひらめき・はかどり・ここちよさ
コクヨマーケティング株式会社
〒100-6018 東京都千代田区霞が関3−2−5 霞が関ビルディング18階

PATISSERIE CREATIONS
GATEAU FESTA HARADA
株式会社 原田
代表取締役 原田 義人
〒370-1301 群馬県高崎市新町1207
TEL 0274-40-3331 FAX 0274-40-3341

人と地球にやさしい
環境制御・エネルギーの東テク
Totech Corporation
東テク株式会社
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-11-11
TEL:03−6632−7000(代表)
URL:http://www.totech.co.jp

三井住友建設
https://www.smcon.co.jp
はしも、
まちも、
ひとも。
橋をわたり、街をあるき、大切な人とすごす。
そんな日々のくらしがいつまでも続くよう、
豊かな未来につながるものづくりに全力で取り組みます。

Quality gives priority to all
白石建設株式会社
いい建築ってなんだろう?
〒166-8540
東京都杉並区高円寺南4-15-11
TEL:03-3314-1101(代表)
http://www.shiraishi-ken.co.jp

優しさと潤いと安らぎを人と環境に
コンクリートブロックの総合メーカー
株式会社 よねざわ工業
代表取締役 米 澤 稔
(昭和44年 建築学科卒)
〒061-1405 北海道恵庭市戸磯596番地6
TEL 0123-32-2221(代) FAX 0123-33-1191
ホームページも ぜひご覧ください。
http://www.yonezawa-k.co.jp/

すべてはここから始まった…
創立70周年から100年企業へ
そして続く未来へ
昭和11年(1936年)、満州国(当時)の電力不足を解消するため第二松花に建設が計画された豊満ダム。
そこに従事した土木技術者を中心に設立された会社が、大豊建設のルーツです。
「大豊」の社名は大豊満ダムから由来し、そのパイオニア精神と技術はこれからも連綿と受け継がれてゆきます。
大豊建設株式会社
DAIHO
豊満ダム
重力式コンクリートダム 堤長/1,100m 高さ/91m
堤頂幅/8m 堤体積/220万㎥ 基礎掘削量/190万㎥

−顧客満足度・地域No.1を目指して−
ISHIKAWA
総合建設業
石川建設株式会社
代表取締役社長 石 川 雅 之
本 社 〒373-0853
群馬県太田市浜町10番33号
0276-45-1621(代)
URL http://www.ishikawa-inc.co.jp

We Find the Way
日本通運
NIPPON EXPRESS
日本通運株式会社 首都圏支店
移転引越第二営業部 秋葉原事業所
〒114-0013 東京都北区東田端2丁目15番8号
連絡先 03-5901-9022
URL http://www.nittsu.co.jp

KIMURA
あおもりの未来へ、エールをおくろう。
総合建設業
株式会社 木村建設
代表取締役 木 村 喜 有
(昭和４４年土木工学科卒)
〒030-0902
青森県青森市合浦二丁目19番21号
TEL: 017-741-5244
FAX: 017-741-5230
URL: http://www.kimken.co.jp/

Building Dreams

株式会社 加藤組

代表取締役 齋藤 寛

本　社　横浜市西区みなとみらい2丁目2番1
〒220-8130　横浜ランドマークタワー30階
TEL(045)641-7541　FAX(045)664-5360

四国支店　徳島市川内町竹須賀65
〒771-0141　Do・三木ビル1階
TEL(088)665-5655　FAX(088)665-2008

SIT SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

学校法人芝浦工業大学 事業法人
株式会社エスアイテック

代表取締役 中本 仁

お仕事紹介・転職支援をお手伝いします
技術人材募集・登録受付中

エスアイテック　検索

TEL：03-5859-7930（金澤・澤中）
URL：http://www.sitech-jp.com

竹中工務店グループ
TAKENAKA

建物を育て 未来へつなぐ

アサヒファシリティズ

建物維持管理事業／不動産事業／保険代理事業

本　社：〒136-0076 東京都江東区南砂2丁目5番14号
TEL.(03)5683-1181

営業拠点：札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・京都・神戸・高松・広島・福岡

ITOKI

明日の「働く」を、デザインする。
We Design Tomorrow. We Design WORK-Style.

株式会社イトーキ
東京都中央区日本橋2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング 〒103-6113
お客様相談センター　0120-164177　URL https://www.itoki.jp/

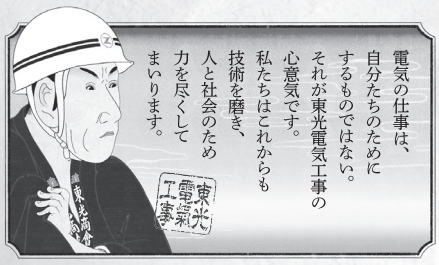
私たちは、「現場力」と「提案力」にこだわり、お客様に「安全・安心」と「快適」を提供してまいります。

あしたを、つなぐ
野村不動産パートナーズ

〒163-0562 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号
新宿野村ビル8階
教育施設事業一部　TEL03(3345)0672
http://www.nomura-pt.co.jp

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

竹中工務店
〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1



人様の役に立てるなんて
うれしいじゃないか。

創業1923年

東光電気工事株式会社
〒101-8350
東京都千代田区西神田一丁目4番5号
TEL:03-3292-2111
www.tokodenko.co.jp

Kinden
きんでん
東京支社

執行役員　支社長
榎本　謙司

消防用設備施工保守管理

赤城工業株式会社

東京都板橋区氷川町43−4

TEL 03(3963)3711(代表)

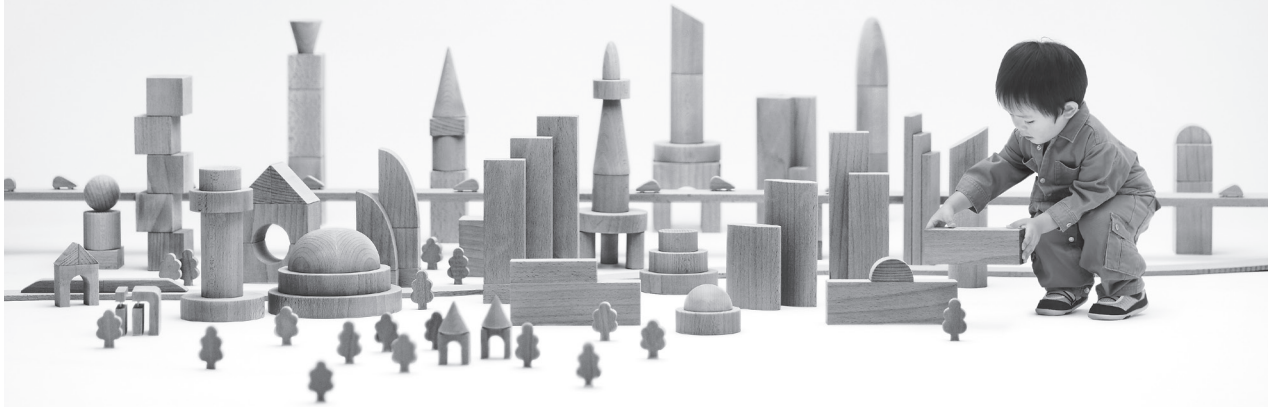
"喜び"を実現する企業グループ
戸田建設

新日本リフォーム株式会社

●大規模修繕工事　●耐震補強設計・補強工事
●給排水・空調設備工事
●個人宅リフォーム工事

〒103-0022　東京都中央区日本橋室町 4-3-13 三建室町ビル 4 階
TEL:03-3241-8814　FAX:03-3270-1538
URL:http://www.sn-reform.co.jp/　　担当：渡辺

想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
鹿島

鹿島建設株式会社　代表取締役社長　押味至一
鹿島建設株式会社横浜支店　専務執行役員支店長　野村高男

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく
ISUZU

事業内容:
自動車、輸送用機械器具、原動機の製品およびその製品ならびに関連する資材、用品の製造・販売

住所:〒140-8722
東京都品川区南大井6-26-1ベルポートA館

KQMI 品質経営と改善

自動車・航空宇宙産業への支援(IATF16949, JISQ9100)

株式会社 熊谷QMインダストリ

代表取締役
鯨井 武(昭和54年通信工学科卒)

技術士(経営工学部門)
IATF16949 自動車産業品質マネジメントシステム審査員
(一社)ものづくり改善ネットワーク 改善インストラクター
〒360-0032 熊谷市銀座6-6-14
090-1422-5670
https://www.kqmi.co

芝浦工業大学の多くの卒業生が
総合資格学院で合格を勝ち取っています!

一人ひとりの
理解度に合わせた
"真の個別指導"を実践!

2019年度 1級建築士 設計製図試験
芝浦工業大学卒業生合格者占有率
卒業生合格者110名中、当学院当年度受講生68名
61.8%

※卒業学校別合格者数は、試験実施機関である(財)建築技術教育普及センターの発表によるものです。※総合資格学院の合格者数には、「2級建築士」等を受験資格として申し込まれた方も含まれている可能性があります。<2020年2月19日現在>

合格実績 No.1
1・2級建築士試験

2019年度 1級建築士 学科・設計製図試験
東京都ストレート合格者占有率 68.3%
(2020年2月5日現在)
東京都ストレート合格者441名中/当学院当年度受講生301名
他講習利用者+独学者
当学院当年度受講生

2019年度 2級建築士 学科・設計製図試験
東京都ストレート合格者占有率 51.6%
(2019年12月5日現在)
東京都ストレート合格者665名中/当学院当年度受講生343名
他講習利用者+独学者
当学院当年度受講生

2019年度 1級建築士 設計製図試験
学習方法の選択で合格に大きな影響が!
過年度学科合格者設計製図試験合格率
総合資格学院 新宿校/上野校/池袋校/御茶ノ水校/五反田校/北千住校/吉祥寺校/立川校/町田校
過年度学科合格者 当年度受講生472名中/合格者263名 (2020年2月5日現在)
当学院合格率 55.7%
←24.0%その差→
独学者、他スクール利用者合格率
独学、他スクール利用受験生 628名中/合格者199名 31.7%

●2019年度 1級建築士設計製図試験 全国合格者3,571名中、当学院当年度受講生2,138名 全国合格者占有率59.9%

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。 ※全国/都道府県合格者数・都道府県ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※学科・製図ストレート合格者とは、2019年度1・2級建築士学科試験に合格し、2019年度の1・2級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。 ※過年度学科合格者設計製図試験受講生・合格者は、受講した校舎の都道府県以外で受験した場合も含みます。

法人サポートサービス
企業の将来を担う、若手技術者の育成にご協力いたします。
▸育成オリジナルプラン作成 ▸各種合格ガイダンス
▸新卒採用支援 ▸模擬試験・社内講習会 他

学校・学生サポートサービス
総合資格学院は全国の建設系学生を応援しています。
▸学生向け建設情報誌の発刊 ▸建設業界就職セミナーの実施
▸建設系イベント支援 ▸大学・研究室支援

法定講習 一級・二級・木造建築士定期講習/管理建築士講習/監理技術者講習/第一種電気工事士定期講習/宅建登録講習/宅建登録実務講習

1級・2級 建築士 | 構造設計1級建築士 設備設計1級建築士 | 建築設備士 | 1級・2級 管工事施工管理技士 | 1級・2級 建築施工管理技士 | 1級・2級 土木施工管理技士 | 宅地建物取引士 | インテリアコーディネーター | 賃貸不動産経営管理士

総合資格学院
全国90拠点以上
スクールサイト www.shikaku.co.jp
コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp

新宿校 TEL.03-3340-5671
池袋校 TEL.03-3982-8211
上野校 TEL.03-3832-7201
御茶ノ水校 TEL.03-5244-5615
五反田校 TEL.03-6408-9711
吉祥寺校 TEL.0422-23-6011
立川校 TEL.042-524-7841
北千住校 TEL.03-5284-3911
町田校 TEL.042-724-3061
お問い合わせはお気軽に!

おかげさまで総合資格学院は「合格実績日本一」を達成しました。これからも有資格者の育成を通じて、業界の発展に貢献して参ります。
総合資格学院 学院長 辛 酸司

MIZUHO
みずほ銀行

人、街、社会、地球に優しい空間づくり
総合ビルメンテナンス 清掃業務、設備管理業務、警備業務 マンション管理業務、客室整備業務
株式会社ハリマビステム
代表取締役社長 鴻 義久 (昭和47年 土木工卒)
[本社] 〒220-8116 横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー16階
TEL:045(224)3550 FAX:045(224)3551
B-stem http://www.bstem.co.jp
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

axona AICHI
ー集いと学び空間をデザインするー
愛知株式会社東京本部
〒104-0033
東京都中央区新川1-17-25東茅場町有楽ビル1F
TEL:03-6222-0816 FAX:03-3555-0016
URL:http//www.axona-aichi.com

大地とともに歩む
三井住建道路
THE WAY TO THE FUTURE

〒162-0055
東京都新宿区余丁町13番27号
三井住建道路株式会社
代表取締役社長　松井隆幸
TEL　03-3357-9081

三井住建道路は高い技術力により、生活・産業基盤の
整備事業を通じ、顧客満足度を高め、社会に貢献します。

総合建築・耐震・リニューアル・専門工事
中島建工株式会社
代表取締役　中島　道宏
埼玉県さいたま市浦和区領家5-12-20
TEL 048-886-8877
http://www.nakajimakenko.co.jp/

山形の手造りの地酒
朝日川酒造株式会社
山形県西村山郡河北町谷地乙９３

造園設計施工・緑化土木事業
株式会社
豊橋園芸ガーデン
http://www.garden-g.com/
代表取締役会長長　榊原　周造
（1970年卒　建築工学科）
■豊橋本社　〒441-8077 豊橋市神野新田町水神下64 TEL：0532-45-6679
■東京オフィス　〒114-0014 東京都北区田端3-5-8 アミーデ・クール501 TEL：03-5834-8786
■名古屋事業所　〒454-0059 名古屋市中川区福川町3-1-22 TEL：052-369-2060
■知多事業所　〒470-2203 知多郡阿久比町板山西ノ海道山16-4 TEL：0569-47-1220

高砂熱学
代表取締役社長COO 小島和人
〒160－0022
東京都新宿区6－27－30
電話　03－6369－8212

まず、パートナーとして。
つぎに、エキスパートとして。
株式会社 建匠
代表取締役　塚越浩之
（S59年　機械工学科卒）
東京都葛飾区西亀有4丁目11番9号
TEL03-5682-7102
https://www.kk-kensho.com

なくてはならない企業、
トビシマ。
防災のトビシマ　New Business Contractor
トビシマは、高度な防災・減災技術を進化させ、
安全で安心な都市と環境のために
みなさまと共に明日を描き続けます。
飛島建設
本社／〒108-0075 東京都港区港南1-8-15 Wビル
TEL. 03-6455-8300　http://www.tobishima.co.jp

一般法人・医療法人・学校法人等決算業務
相続税、贈与税申告及び事前対策・M&A等
同族法人等株価対策・その他資産税全般
朱田税務会計事務所
税理士　朱田光洋
（芝浦工業大学理事・評議員）
税理士　坂本幸久
〒103-0004 東京都中央区東日本橋2丁目22番2号
ES林ビル5階
TEL 03-5839-2115　FAX 5839-2116

代表　神尾　雅陽
昭和57年　建築学科卒
〒311-2215
茨城県鹿嶋市和 825-2
有限会社　エスエス住建
TEL　0299-90-9900
FAX　0299-90-9955
mail　kunuginomori@ab.wakwak.com

SDGsで、未来をつなぐ
三井住友海上は、安心と安全の提供を通じて、持続可能な社会の実現に取り組みます
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
SDGs（Sustainable Development Goals）とは
2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた包括的で持続可能な社会の構築を目指す「持続可能な開発目標」のことです。
持続可能な地球環境
関連する主なSDGs　主な取組
・再生可能エネルギーの普及支援
・自然災害リスクモデルにもとづくコンサルティング
安心して暮らせる社会
関連する主なSDGs　主な取組
・健康づくりの支援
・先進技術を活用した利便性の高いお客さま対応
活力のある経済活動
関連する主なSDGs　主な取組
・次世代モビリティ社会への対応（自動運転車等）
・災害に強いまちづくりの支援
立ちどまらない保険。
MS&AD 三井住友海上
三井住友海上は、レジリエントでサステナブルな社会※をめざします。
※外部環境にしなやかに対応する、持続可能な社会

TACY
世界初の多能式自動券売機を開発
（日本機械学会　機械遺産「第50号」認定）
交通システム機器のパイオニア
株式会社 高見沢サイバネティックス
代表取締役社長　高見澤　和夫
〒164-0011 東京都中野区中央２丁目４８番５号
TEL　03-3227-3361
URL　https://www.tacy.co.jp

UCHIDA
内田洋行
高等教育事業部
〒135-0016
東京都江東区東陽2-3-25
TEL　03(5634)6292
FAX　03(5634)6865

LIXIL
Link to Good Living

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、豊かで快適な住生活の
未来を創造する住まいと暮らしの「総合住生活企業」です。

株式会社 LIXIL　https://www.lixil.co.jp/

加工開発のメーカーです。
セラミックスの加工は
当社へご相談ください。

取締役会長　小貫　論
（1975　工化卒　　1977　修士修了）

群馬セラミックス株式会社
〒375-0055
群馬県藤岡市白石1444
Tel　0274-22-2096　Fax 0274-24-4974
https://www.guncera.co.jp

地質調査・環境調査
株式会社 アースリサーチ
代表取締役　冨山光行
（昭和45年土木卒）
本　社
336-0037　埼玉県さいたま市桜区田島5-21-13
TEL　048-844-8651　　FAX　048-844-8655
URL　http://earth-r.co.jp
東京支店・水戸営業所・南埼玉営業所・川口営業所

わいん厨房・たるたる
「男と女のワイン術」
伊藤博之・柴田さなえ著
日本経済新聞出版社刊

わいん厨房
たるたる
予約用アドレス●tartarwine@gmail.com
営業時間●PM 6:00～AM 2:00（土日祝 PM 3:00～）
東京都中央区銀座8-12-1セイコー銀座ビル2F　TEL.03-5565-9898
H02　工化卒
伊藤　博之
ワイン・料理テイクアウト承ります。
ワインのみ都内限定で配達・配送が可能

ジャパンプロテクショングループは
お客様へ「安全」「安心」「信頼」をお届けします
警備業を軸に環境事業・人材派遣・調査の
トータルマネジメントサービスを提供する
ジャパンプロテクション株式会社
102-0004　東京都千代田区二番町5-7　JP本社ビル
03-3265-6861（代）　http://www.jp-group.jp

㈱藤工務店
代表取締役　田中起基　（S62建築）
建築・土木・大工・弐土工事業
〒870－0916　大分県大分市高松東3－1－18
TEL:097－558－6836　FAX:097－558－1692
E-mail：fujico@fat.coara.or.jp
URL：http://fujikoumuten-oita.co.jp

快適な環境づくりに
確かな技術で貢献する
住友電設株式会社
取締役社長　坂崎　全男
http://www.sem.co.jp/

創業大正十三年 正直屋グループ
Joyous Life
パーティ、高級仕出し、
会議用弁当は正直屋に
おまかせください！
●ご注文・お問い合わせは
東京正直屋
0120-33-1171
http://www.shojikiya.co.jp/

BADGE & MEDAL
FACTORY
NAKAJIMA KISHO Co.Ltd.
since 1918
有限会社 中島徽章
代表取締役　中島博行
（昭和60年　金属科卒）
〒111-0036　東京都台東区松が谷2-16-3
TEL 03-3844-2207　Fax 03-3845-5005
http://members2.jcom.home.ne.jp/n-kisho/

NIPPON KINZOKU 2030
Multi & Hybrid Material
人と地球にやさしい
新たな価値を共創する
Multi & Hybrid Material企業
日本金属株式会社
http://www.nipponkinzoku.co.jp/
本　　社：〒108-0014 東京都港区芝5-30-7
TEL.03-5765-8111（大代表）
大阪支店：TEL.06-7711-6133
名古屋支店：TEL.052-962-6671

人が集うところに、
コトブキのイスがあります。
K・O・T・O・B・U・K・I　コトブキシーティング株式会社
www.kotobuki-seating.co.jp
サポートセンター　TEL.0800-170-7111　FAX.0800-170-8222

株式会社 遠藤製作所
（昭和43年卒　機械工学科）
代表取締役社長　遠藤亘持
ENDOH NOBUYOSHI
〒362-0058　埼玉県上尾市上野537番地
TEL.048（725）2061㈹
FAX.　048（725）2063
E-mail：info@endohss.com
http://www.endohss.com

関東自動車株式会社
埼玉県さいたま市浦和区仲町2-3-19
TEL:048-831-2611
URL:https://www.kanto-m.co.jp

高速＆低コストのカラープリントで、
学校教育の質を上げる。
RISO
プリンターの新領域をひらく
■フルカラー毎分160枚*1の高速プリント
■フルカラー 1枚1.44円*2、モノクロ1枚0.50円*2

ORPHIS GD
*1:オルフィスGD9630/9631の場合。A4普通紙片面横送り、標準設定連続プリント、GDフェイスダウン排紙トレイ使用時。2017年6月現在発売の枚葉（カット紙）オフィス用カラープリンターにおいて世界最速（当社調べ）。*2:A4普通紙片面、RISOGDインク使用時。カラーは解像度300dpi、測定画像にISO/IEC24712に定めるパターンを使用し、ISO/IEC24711に基づく測定方法によって算出。モノクロは解像度600dpi、測定画像にISO/IEC19752に定めるパターンを使用し、ISO/IEC24711に基づく測定方法によって算出。用紙代別。※写真はオルフィスGD9630オプション接続時。
理想科学工業株式会社 理想三田支店
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル18F
TEL. 03-3453-2241　FAX.03-3453-7981　　http://www.riso.co.jp/

CSJ
Connect the World by our Pallets
～物流機器で世界をつなぐ～
シーエスグループ　国内外4社　海外関連会社 7社
・シーエスジャパン株式会社　　・株式会社千葉総業（日本）
・C S大連有限公司（中国）　　・CS VIETNAM（ベトナム）
本社〒290-0044　千葉県市原市玉前西2-2-18
電話 0436-23-0511　FAX 0436-23-1611
代表取締役社長　野城　正人　　（H5年工経卒）

『西河「技術経営学」入門』に整理し、芙蓉書房から3月末に出版しました。

「技術経営学」は、あらゆる経営者にとって重要な基礎知識であるにも関わらず、学問化が遅れている。「経営学」があっても、「技術経営学」は見当たらない。経営に関する知識がない大学の学生が本書を読めば、経営における技術の役割が理解できることに狙いを置いている。時代を超えることができる知識の集積化であり「技術経営学」の体系化を目指している。

本書「著者の実学、教授経験が結集した名著」と評価されました。（全365頁）

（定価2,800円＋税）

技術経営人財の育成と活用

一般財団法人
アーネスト育成財団
理 事 長　西河　洋一
東京都渋谷区
代々木1−57−2　704号
TEL（03）6276-6260
http: //www.eufd.org

HAYASHI-REPIC

永い歴史と経験に培われた技術力で
皆様のご期待に沿えますよう全力を尽くして参ります

ハヤシレピック株式会社　旧林時計工業（株）
本社　〒170−0004　東京都豊島区北大塚1丁目28番3号
TEL ： 03ー3918ー5237　URL: http://www.h-repic.co.jp
第1事業部　ルミナーエース（光源），LED照明，電動ドライバー
第2事業部　ペルチェ式電子クーラー，デジタル温度調節器
第3事業部　半導体組立，厚膜印刷
第4事業部　同軸コネクター，ケーブル，スイッチ，センサー，チェンバー
第5事業部　パーツフィーダー，省力化装置，プレス部品，各種組立作業
連絡先：安田俊司　平成4年機械ニ科卒　s-yasuda@h-repic.co.jp
校友会相談役 金井昭三　昭和41年機械ニ科卒　sho-kanai@sky.plala.or.jp

校歌

山田耕筰　作曲
北原白秋　作詞

一、朝日に輝く　風と潮
雄大　空あり　雲は移る
仰げよ校旗の　翩翻たるを
白亜の殿堂　ここに聳え
われらが工学　英気鍾む
芝浦　芝浦　われらが母校

二、世紀に脈うつ　熱と理性
剛健　矩あり　常に鍛ふ
行へほがらに　溌剌たれや
師弟の純情　一に依りて
磨くにこの技　神に通ず
芝浦　芝浦　われらが母校

三、永遠に栄ゆく　意思と秩序
誠実　ただあり　道は徹る
夢むな空理の　漠々たるを
精微をきはめて　事に即かば
工学日本　大を成さん
芝浦　芝浦　われらが母校

旧校歌

須川政太郎　作曲
有元　史朗　作詞

一、巨鯨潮吹き鵬の舞う　大えいの水洋洋乎
旭陽うけて天そそる　不二の高嶺に雪白く
関東の野に麦萌ゆと　雲雀天に告げんとす

二、東京湾頭波もなく　墨水流れ鷗浮く
都の枢要地を占むる　工の業の学び校の
林は繁しいや栄え　やがて花咲き実を結ぶ

三、科学の世界工業の　進歩やまこと駸々乎
先人夢に見しところ　今や現実に現ぜられ
今人夢に見るところ　明日将に実現す

四、曲学阿世時得とも　夕を待たで凋み散る
槿花一朝の栄えあり　真理に立てる学にして
まことの学の権威あり　学の独立守らでや

五、世界文化に貢献し　人類の平和招くべく
太古バビロンに夢むてふ　バベルの塔を築くこそ
学徒の荷う務めなれ　我等の懐く望みなれ

六、キイツはいいぬ美しき　ものこそ永遠のかんきなれ
趣味実用を兼ね備う　美の殿堂を築くべき
使命は重しわが肩に　望みは高しわが胸に

第一応援歌

●荒波浴びる
荒波浴びる芝浦に
そびゆる工大わが母校
伝統ここに五十年
文化の渦潮導きて
静穏精進に敵はなし
おお芝浦エンジニア

第二応援歌

一、雄図秘めし若人の
胸高鳴るや　いかにせん
芝浦健児　ここにあり
正々堂々　たたかわん
最後に取るは　勝利なり
芝浦　芝浦　芝浦

二、錬磨の日々ぞ　涙あり
聞けよ王者の　おたけびを
芝浦健児　ここにあり
正々堂々　たたかわん
必ずとるは　勝利なり
芝浦　芝浦　芝浦

芝浦工業大学 校友会